

**平成29年度**

**事業報告書**

**事業報告の附属明細書**

**公益財団法人かわさき市民活動センター**

## 目 次

### 事業報告書

1 当法人の現況に関する事項	1
(1) 事業の経過及びその成果	1
(2) 直前3事業年度の財産及び損益の状況	1
(3) 主要な事業内容	1~2
(4) 重要な契約に関する事項	2
(5) 職員に関する事項	2
(6) 役員会等に関する事項	2~4
2 役員等に関する事項	4
(1) 理事	4
(2) 監事	5
(3) 評議員	5
(4) 退任した役員	5
(5) 役員等の報酬	5

### 事業報告の附属明細書

I 役員以外の法人等の業務執行理事等との重要な兼職の状況	6
II 事業の実施状況について補足すべき重要事項【事業の概要】	6
1 市民活動推進事業	6~15
2 青少年健全育成事業	16~39
3 法人の運営	40

# 事業報告

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

はじめに

当財団の使命は、「川崎市における市民活動支援の中間支援組織として市民相互の連携を図りながら市民活動の活性化を促進するとともに、青少年の心身の健全な育成を図るため、青少年事業の推進及び地域組織への支援を行い、もって住みよい地域社会の確立に寄与する」ことが定款第3条に定められています。平成29年度においても「市民活動推進事業」及び「青少年健全育成事業」を2本の柱として、地域の関係団体・関係機関と連携した事業展開を図りました。

「市民活動推進事業」では、市民活動団体がより活発に活動できるよう、市民活動に関わる人材育成やスキルアップを図るための各種講座や事業を実施しました。また、3土業によるワンストップのNPO向け専門相談事業や中間支援組織ネットワーク会議の開催等、新たな取り組みを行うなど、市民活動団体に役立つ事業運営を推進しました。

「青少年健全育成事業」では、子どもたちが安心して楽しく過ごせる居場所となるよう多彩な事業を実施しました。また、次期指定管理者の募集に備え、今期の事業評価と課題の抽出を行うためにプロジェクトチームを立ち上げました。さらに、「放課後児童支援員キャリアアップ処遇改善事業」の開始にともない、職員の放課後児童支援員の資格取得を進めました。

法人としては、2回目の行政庁の立入検査が実施され、指摘された口頭での伝達事項についての確に対応しました。また、法令に基づいて各規則の改正を行う等、健全な組織整備を実施しました。

## 1 当法人の現況に関する事項

### (1) 事業の経過及びその成果 (3月補正後) (単位：千円)

事業別【経常収益】	予算現額	執行済額	執行率
市民活動推進事業	99,045	94,905	95.82%
青少年健全育成事業	2,889,017	2,876,740	99.57%

### (2) 直前3事業年度の財産及び損益の状況 (単位：千円)

区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (当事業年度)
経常収益	2,909,305	2,939,892	2,870,310	3,018,763
当期経常増減額	△29,418	76,429	△17,627	△15,600
正味財産期末残高	239,321	315,748	298,438	283,046

### (3) 主要な事業内容

事業	主要な事業の内容
市民活動推進事業	<ul style="list-style-type: none"><li>・市民活動に関する情報の収集・提供及び啓発事業</li><li>・市民活動に関する調査・研究事業</li><li>・市民活動に関する人材育成及び相談事業</li><li>・市民活動の促進・支援事業</li><li>・関係機関・関係団体等との連携</li></ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その他目的を達成するために必要な事業（理事会又は評議員会で決議する事業）</li> </ul>
青少年健全育成事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年の健全育成に関する事業</li> <li>・青少年施設の管理運営の受託</li> <li>・関係機関・関係団体等との連携</li> <li>・その他目的を達成するために必要な事業（理事会又は評議員会で決議する事業）</li> </ul>

(4) 重要な契約に関する事項

契約年月日	相手方	契約金額	契約期間	契約の概要
平成 29 年 4 月 1 日	川崎市	合計 2,702,695,000 円	H29.4.1 から H30.3.31 まで	川崎市こども文化センター指定管理業務の受託に伴う年度協定書

(5) 職員に関する事項

(平成 30 年 3 月 31 日現在)

職名等	氏名	就任年月日	担当事務	備考
事務局長	濱舘 幸二	H28.06.13	事務局の総括	重要な使用人
総務課長	秋田 達也	H28.07.01	課の総括	
市民活動推進課長	犬塚 裕雅	H29.04.01	〃	(参事)
青少年事業課長	大倉 萬里子	H22.10.01	〃	(参事)
青少年事業課主幹	島 忍	H22.10.01	エリアマネージャーの総括	
その他の職員（嘱託職員を含む）				301 人

(6) 役員会等に関する事項

ア 理事会

会議名	開催年月日	議 題	会議の結果
第 1 回	平成 29 年 5 月 29 日	議案（決議事項） 第 1 号 平成 28 年度事業報告及び収支決算について 第 2 号 平成 29 年度 5 月補正予算について 第 3 号 平成 29 年度第 2 回評議員会の開催について 第 4 号 理事の辞任に伴う補欠選任候補者の推薦について 専決処分（決議事項） 第 1 号 規則の改正について 第 2 号 年度協定書の締結について 報告 第 1 号 特定費用準備資金の支出結果について 第 2 号 行政庁へ提出する事業報告書等について	可決 可決 可決 可決 可決 可決 了承 了承

第2回	平成29年 11月28日	<p>議案（決議事項）</p> <p>第1号 平成29年度11月補正予算について</p> <p>第2号 平成29年度第3回評議員会の開催について</p> <p>第3号 理事の辞任に伴う補欠選任候補者の推薦について</p> <p>専決処分（決議事項）</p> <p>第1号 規則の改正について</p> <p>第2号 理事による利益相反取引について</p> <p>報告事項</p> <p>第1号 理事長及び常務理事の職務の執行状況の報告について</p> <p>第2号 行政庁の立入検査の実施結果について</p> <p>第3号 全市的イベントの実施について</p>	<p>可決</p> <p>可決</p> <p>可決</p> <p>可決</p> <p>可決</p> <p>了承</p> <p>了承</p> <p>了承</p>
第3回	平成30年 3月15日	<p>議案（決議事項）</p> <p>第1号 個人情報の保護に関する規定の整備について</p> <p>第2号 規則の制定について</p> <p>第3号 平成29年度3月補正予算について</p> <p>第4号 平成30年度事業計画について</p> <p>第5号 平成30年度収支予算等について</p> <p>第6号 平成30年度第1回評議員会の開催について</p> <p>理事長及び常務理事の職務の執行状況の報告</p> <p>1 専決処分（決議事項）</p> <p>第1号 規則の改正について</p> <p>第2号 加藤理事の利益相反取引について</p> <p>第3号 吉澤理事の利益相反取引について</p> <p>2 報告事項</p> <p>第1号 行政庁への事業計画書等の提出について</p> <p>第2号 職員採用選考及び昇任試験の結果について</p> <p>第3号 全市的イベントの実施結果について</p>	<p>可決</p> <p>了承</p> <p>了承</p> <p>了承</p>

### イ 評議員会

会議名	開催年月日	議 題	会議の結果
第1回	平成29年 4月20日	<p>報告事項</p> <p>第1号 規則の改正について</p> <p>第2号 平成28年度3月補正予算について</p> <p>第3号 平成29年度事業計画について</p> <p>第4号 平成29年度収支予算について</p> <p>第5号 行政庁への事業計画書等の提出について</p> <p>第6号 職員採用選考及び昇任試験の結果について</p> <p>第7号 全市的イベントの実施結果について</p>	<p>了承</p> <p>了承</p> <p>了承</p> <p>了承</p> <p>了承</p> <p>了承</p> <p>了承</p>

第2回	平成29年 6月23日 (定時評議員会)	議案(決議事項) 第1号 平成28年度事業報告及び収支決算について 第2号 理事の補欠選任について 報告事項 第1号 規則の改正について 第2号 平成29年度5月補正予算について 第3号 年度協定書の締結について 第4号 特定費用準備資金の支出結果について 第5号 行政庁へ提出する事業報告書等について	可決 可決  了承 了承 了承 了承 了承
第3回	平成29年 12月11日	議案(決議事項) 第1号 理事の補欠選任について 報告事項 第1号 平成29年度11月補正予算について 第2号 規則の改正について 第3号 平成29年度上半期の事業等について 第4号 行政庁の立入検査の実施結果について 第5号 全市的イベントの実施について	可決  了承 了承 了承 了承 了承

## 2 役員等に関する事項

(平成30年3月31日現在)

### (1) 理事

役職名	氏名	任期	常勤 非常勤	報酬	他の法人等の代表状況等
代表理事 (理事長)	小倉 敬子	H28.6.13 から H30.6 定時評議員 会まで	常 勤	有	LET'S 国際ボランティア交流会 代表
副理事長	鈴木 眞智子	〃	非常勤	〃	特定非営利活動法人 とどろき水辺 理事
副理事長	福田 武雄	〃	〃	〃	川崎市青少年育成連盟 副理事長
代表理事 (常務理事)	太田 直	〃	常 勤	〃	元川崎市市民・こども局長
理 事	加藤 妙子	〃	非常勤	〃	おと絵がたり 代表
〃	深瀬 浩由	〃	〃	〃	川崎市レクリエーション連盟 会長
〃	福芝 康祐	H29.6.23 から H30.6 定時評議員 会まで	〃	〃	社会福祉法人 川崎市社会福祉協議会 事務局長
〃	宮津 健一	H29.12.11 から H30.6 定時評議員 会まで	〃	〃	公益財団法人 川崎市生涯学習財団 副理事長
〃	持田 和夫	H28.6.13 から H30.6 定時評議員 会まで	〃	〃	川崎市全町内会連合会 副会長
〃	吉澤 慶太	〃	〃	〃	川崎市PTA連絡協議会 会長

## (2) 監事

役職名	氏名	任期	常勤 非常勤	報酬	他の法人等の代表状況等
監事	浅田 省三	H28.6.13から H30.6 定時評議員会まで	非常勤	有	元川崎市理事・収入役室長
〃	志村 佳徳	〃	〃	〃	税理士

## (3) 評議員

役職名	氏名	任期	常勤 非常勤	報酬	他の法人等の代表状況等
評議員	齊藤 準	H26.6.19から H30.6 定時評議員会まで	非常勤	有	元社会福祉法人 川崎市社会福祉協議会 理事
〃	三枝 博男	〃	〃	〃	司法書士
〃	菅原 陽子	〃	〃	〃	元特定非営利活動法人 市民文化パートナーシップかわさき 理事長
〃	竹井 斎	〃	〃	〃	特定非営利活動法人 アクト川崎 理事長
〃	土澤 稔	〃	〃	〃	元川崎市立中学校校長
〃	永津 英二郎	〃	〃	〃	税理士
〃	仁藤 公子	〃	〃	〃	元川崎市立小学校校長
〃	東田 乗治	〃	〃	〃	元神奈川県青少年指導員連絡 協議会 会長
〃	前田 成東	〃	〃	〃	東海大学教授

## (4) 退任した役員

氏名	退任時の地位	退任日	退任理由
桑原 賢治	理事	平成 29 年 6 月 16 日	辞任

福芝康祐理事の前任である土屋加代子理事は、平成 29 年 3 月 31 日付けで辞任した。

## (5) 役員等の報酬

区分	人数	報酬の総額	備考
理事	10人	6,216千円	常勤及び非常勤
監事	2人	128千円	非常勤
評議員	9人	176千円	非常勤
合計	21人	6,520千円	

注1：理事、監事及び評議員の報酬額は、平成 22 年 7 月 1 日開催の評議員会において了承された「役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規則」において定められている。

注2：評議員の報酬の限度額は、「定款」第 15 条において、毎年度総額 30 万円を超えないものとされている。

# 事業報告の附属明細書 <<平成 29 年度事業報告>>

(平成 29 年 4 月 1 日~平成 30 年 3 月 31 日)

## I 役員その他の法人等の業務執行理事等との重要な兼職の状況

役員の主な他の法人等の代表状況等については、事業報告「2 役員等に関する事項」のとおりです。

## II 事業の実施状況について補足すべき重要事項【事業の概要】

### 1 市民活動推進事業

全市・全領域の市民活動団体の中間支援組織として、これまでの経験と知識を活かし、川崎市民のボランティア活動及び市民活動団体への支援・育成に取り組みました。平成 29 年度の主な取組結果は、次のとおりです。

#### (1) 会議室・フリースペース等管理運営事業

平成 29 年度の利用登録団体数は、新規 31 団体、計 738 団体でした。

施設・設備名	平成 28 年度		平成 29 年度		前年度同期比較 (増減)	
	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数
会議室 A	570 団体	5,776 人	565 団体	5,894 人	△5 団体	118 人
会議室 B	479 団体	4,749 人	507 団体	4,809 人	28 団体	60 人
印刷室	492 団体	1,135 人	486 団体	1,088 人	△6 団体	△47 人
フリースペース	3,727 団体	17,218 人	4,297 団体	19,003 人	570 団体	1,785 人
パソコン (2 台)	447 団体	654 人	494 団体	741 人	47 団体	87 人
ロッカー・大 (72 台)	72 台		72 台		0 台	
ロッカー・小 (9 台)	9 台		9 台		0 台	
レターケース (57 台)	32 台		39 台		7 台	
市民活動ブース 1	認定 NPO 法人キーパーソン 21				/	
市民活動ブース 2	NPO 法人グローイン・グランマ		Women's body labo			
市民活動ブース 3	おと絵がたり					
市民活動ブース 4	かわさき J プロジェクト+					
市民活動ブース 5	①持続可能な地域交通を考える会、②川崎の交通とまちづくりを考える会、③川崎フューチャーネットワーク		一般社団法人だじゃれ活用協会			
後援名義申請数	17 団体		12 団体		△5 団体	
施設・設備等利用合計	5,715 団体	29,532 人	6,349 団体	31,535 人	634 団体	2,003 人

#### (2) 情報提供・啓発事業

##### ア 情報紙「ナンバーゼロ」の発行 (録音版の製作)

ボランティアや市民活動に関する様々な情報を提供するため、毎月 10,000 部 (1・4 面フ

ルカラー、2・3面モノクロ)発行し、市内公共機関、関係団体及び賛助会員に配布しました。

また、視覚障害者へ情報を提供するため、各月号の録音版CD(デージー図書)を作成し、市内希望者等の27人へ当該団体等を通じて配布しました。

## イ ボランティア・市民活動募集冊子(ボラ・ナビ)の発行

ボランティア・市民活動に参加してみたいという学生や市民に役立ててもらうため、市内活動団体のボランティア募集情報を掲載した小冊子「ボラ・ナビ2018」を川崎市社会福祉協議会と共同で5,000部発行し、市内関係機関・団体、小・中・高等学校等に配布しました。

また、主に児童・生徒・学生向けの「ボラ・ナビ2017夏休み版」を3,500部発行し、市内関係施設・団体・小・中・高等学校・大学を中心に配布しました。今年度は印刷サイズをコンパクトにし、持ち歩けるような仕様にしました(A6版/16ページ、掲載団体37団体/掲載情報42件)。

## ウ 神奈川新聞へのコラム連載

市内ボランティア・市民活動の情報発信を目的に、22人の市民記者の取材・執筆によるボランティア・市民活動等に関する様々な情報を神奈川新聞の協力を得て、同紙の土曜版に「市民発 地域をつくる人・活動」と題したコラムに連載しています。今年度は47回連載しました。

## エ ホームページ・ポータルサイトの運営

### (ア) ホームページ(ボランティア・市民活動部門)

ホームページでは主に市民活動推進事業に関する情報を掲載し、一年間のアクセス総数は59,901件(月平均約5,000件)でした。

また、ブログで事業内容の詳細や、イベント・講座等の告知・報告などを随時発信したほか、講座・イベントの様子をFacebookに文章・写真・動画でライブ発信しました。

### (イ) 応援ナビかわさき

川崎市内における市民活動のポータルサイトとして役立つよう、イベント・講座、ボランティア募集、団体詳細、民間助成金、最新情報を迅速に掲載するとともに、コンテンツの充実に努めました。一年間のアクセス総数は43,290件(月平均で約3,600件)でした。また、応援ナビかわさきのTwitterは、ツイート数が1,400件を超えました。

### (ウ) メールマガジンの発行

新着情報などをまとめたメールマガジンをメルマガ会員(254人)あてに年8回配信しました。

## (3) 調査研究事業

### ア 市内福祉施設・市民活動団体等のボランティア受入実態調査

ボランティア・市民活動募集冊子(ボラ・ナビ)の発行に伴い、市内福祉施設や市民活動団体を対象に、ボランティアの受け入れ実態について調査を行いました。その結果、106団体から回答が寄せられ、ボランティア募集の際に活用する媒体、受け入れ態勢、ボランティアの属性などのほか、「ボラ・ナビ」発行の成果などを調査しました。

## (4) 交流促進事業

### ア ごえんカフェ(市民活動交流会)の開催

分野・領域・地域を越えた、市民活動団体等の相互交流・連携の促進を図る、ごえんカフェ(市民活動交流会)を開催しました。58人の参加があり、各団体間での情報交換や交流の場

として活用されました。

更に今年度は、団体の悩みや困りごとについてテーマ別に話し合う「ミニカフェ」を3回開催。第1回「広報・情報発信編」は7月11日（18時半～20時半）7団体9人、第2回「印刷機攻略法！」は8月31日（18時半～20時半）4団体4人、第3回「あなたのNPO法人「定款変更」が必要かも?!」は3月24日（10時～12時）9団体10人が参加しました。

## イ ごえん楽市（かわさきボランティア・市民活動フェア）の開催

平成30年2月12日（月祝）、かわさき市民活動センター・中原市民館で開催し、75団体（新規12団体）が出展し、約1,900人が参加しました。

パネル展示45団体、団体企画34件、フリーマーケット7団体の出展のほか、主催者企画で「パラスポーツの世界（協力：東京ガス（株）川崎支店）」「高校生によるNPOゲーム大会」などを実施しました。

## (5) 研修・相談事業

### ア 市民活動入門講座の開催

ボランティア・市民活動に関心のある生徒を対象に、ボランティアに対する理解を深めてもらうための講座を7月26日（水）に開催しました。その日の午前は中高生5人が参加し、市民活動センターで情報紙「ナンバーゼロ」の発送準備作業を行い、午後は4人の中学生が中原図書館でリサイクル本の整理などを行いました。

### イ パワーアップセミナーの開催

主に市民活動団体を対象にパワーアップセミナーを開催しました。

また、セミナーで学んだことの理解を深めるため、各回の受講者を対象に「おさらい会」を実施しました。今年度は講座のテーマを「組織運営」と「広報」の2つの分野に分け、同じ分野を3回以上受講した13人に、分野別に修了証を発行しました。

さらに、「受講内容をどのように活動に活かせたか」の具体的な成果事例の発表会を催しました。

#### ①当センター単独開催セミナー

開催日	内 容		参加数	開催場所
5月20日	テーマ	新しい仲間を巻き込み活動に必要な担い手を育てるコツ	20人	センター 会議室
	講師	呉 哲煥（NPO法人CRファクトリー代表）		
6月10日	テーマ	必ず人が集まる。イベントの企画・運営	25人	
	講師	呉 哲煥（NPO法人CRファクトリー代表）		
7月29日	テーマ	団体の魅力を伝えるロゴマークをつくる。	23人	
	講師	林田全弘（小さなNPOを応援するデザイナー）		
9月9日	テーマ	すぐに使える！魅せるチラシデザインのコツ	30人	
	講師	大工原潤（認定NPO法人さいたまNPOセンター理事）		
9月30日	テーマ	市民活動のためのSNS活用術～facebook入門編	30人	
	講師	酒井隆（(株)世田谷社）		
10月21日	テーマ	市民活動のためのFacebook運用と戦略立案	23人	

	講 師	加藤たけし (株式会社ループス・コミュニケーションズ)	
--	-----	-----------------------------	--

## ②川崎市社会福祉協議会との共催セミナー

開催日	内 容		参加数	開催場所
12月2日	テーマ	団体のための効果的な助成金活用法	20人	エポック なかはら (川崎市 総合福祉 センター)
	講 師	山田泰久 (NPO 法人 CANPAN センター 代表理事)		
1月20日	テーマ	団体のための会計【基本】	18人	
	講 師	上田 誠 (上田誠税理士事務所)		
2月3日	テーマ	15文字で団体の魅力が伝わるキャッチコピーをつくる	35人	
	講 師	林田全弘 (株式会社ガノイ)		
3月10日	テーマ	団体の活動を「見える化」する。	18人	
	講 師	手塚明美 (認定 NPO 法人藤沢市市民活動推進連絡会)		
3月18日	テーマ	パワーアップセミナー活用成果発表会	12人	センター 会議室
	発表1	「イベントの企画・集客」おもちゃと遊びの会		
	発表2	「市民活動のための F e c a b o o k 運用と戦略立案」 Mothers be Ambitious		

## ③おさらい会

開催日	参加数	開催場所
5月24日	2人	センター 会議室
6月14日	3人	
8月4日	1人	
9月15日	4人	

## ウ NPO 法人スタッフ養成講座

NPO 法人の寄付者等の獲得と適正運営のために必要な情報を網羅的・実務的に提供しながら、新たに活動に参加する市民（スタッフ）の発掘を促進することを目的に実施しました。

10月17日・24日・31日・11月7日・21日（各回火曜日午後6時30分～9時）と全5回で開催しました。

開催日	内 容		参加数	開催場所
10月17日	テーマ	NPO法人の事務の全体像	18人	センター 会議室
	講 師	笹子まさえ (かわさきNPO法人連絡会副代表・認定NPO法人アクト川崎事務局長)		
10月24日	テーマ	日々の実務	19人	
	講 師	笹子まさえ		
10月31日	テーマ	事業年度が終了したとき	17人	

	講 師	笹子まさえ		
11月7日	テ ー マ	NPO法人の税務について	19人	
	講 師	原 淳子 (原淳子税理士事務所)		
11月21日	テ ー マ	NPO法人の労務について	21人	
	講 師	佐川陽子 (佐川社会保険労務士事務所)		

## エ 市民記者養成講座の開催

現役の記者の方や、広告・広報の専門知識を持つ方を講師に招へいし、記事の取材や編集方法等についての基礎講座を平成30年1月17日から2月28日までの間に5回開催しました。15人の受講者のうち、9人が平成30年度から新たに市民記者として加わります。

## オ NPO向け専門相談の実施

東京地方税理士会との共催で税理士による会計相談を実施し、5件の相談がありました。また、行政書士オレンジ会（行政書士会川崎南支部有志）との共催で行政書士による法務相談を実施し、3件の相談がありました。

## カ NPO法人の手続に関する相談の実施<川崎市と共催>

センター職員と川崎市職員によるNPO法人の設立などに関する出張相談を実施し、10件（※）の相談がありました。※6月14日高津1件、7月20日多摩1件、9月21日川崎4件、1月18日宮前2件、3月15日麻生2件。

## キ 職員及び役員の派遣

各団体の要請に基づき、職員又は役員を講師等として派遣しております。

### (ア) 職員派遣状況

開 催 日	主 催 者	テ ー マ	対 象	開 催 場 所
毎月第3木曜	中原区役所 地域振興課	中原区民交流センターにおける 市民活動相談窓口（出張相談）	市民	中原区役所
4月27日	中原区役所 生涯学習支援課	シニアの社会参加支援事業（活動コ ース） 生き生きシニアカ	市民	中原市民館
6月6日	神奈川県立図書館 生涯学習サポート課	高校生ボランティア活動出張教室 「ボランティア活動について」	1年生	川崎市立 川崎高等学校
7月11日	中原区役所 地域ケア推進担当	中原区子育て支援者養成事業 フォローアップ講座	市民	中原区役所
7月28日	麻生区役所 生涯学習支援課	シニアの社会参加支援事業（入門コ ース） 地域活動のススメ	市民	麻生市民館
8月18日	川崎市健康福祉局 地域包括ケア推進室	中間支援組織としての市民活動への かかわり方及び取組事例	地域包 括ケア システ ム連絡 協議会	川崎市役所第3 庁舎

10月7日	川崎市健康福祉局 保健所動物愛護センター	かわさき犬・猫愛護ボランティア講習会	市民	川崎市役所第4庁舎
10月18日	川崎市健康福祉局 保健所動物愛護センター	かわさき犬・猫愛護ボランティア講習会	市民	川崎市役所第4庁舎
11月30日	宮前区まちづくり協議会	資金支援団体交流会	市民	宮前区役所
30年 1月18日	総務企画局 危機管理室	平成29年度 川崎市防災シンポジウム	市民	エポックなかはら（川崎市総合福祉センター）

(イ) 役員派遣状況

開催日	主催者	テーマ	対象者	開催場所
5月24日	多摩区役所 生涯学習支援課	識字ボランティア入門研修 「ボランティアとしての心構えについて」	市民	多摩市民館
6月2日	多摩区役所 地域ケア推進担当	多摩区子育て支援者養成講座 「ボランティア活動とは～子育て支援のあり方～」	市民	多摩区役所
6月13日	中原区役所 生涯学習支援課	識字ボランティア入門研修 「ボランティアとしての心構えについて」	市民	中原市民館
6月28日	宮前区役所 保健福祉センター	宮前区健康づくりボランティア養成講座 「ボランティアと地区組織活動」	市民	宮前区役所
7月28日	多文化共生保育研修会/ 公益財団法人かながわ国際交流財団	多文化共生保育研修会 「外国人支援を続けて来て、保育園に求めるもの～外国籍・海外にルーツを持つ幼児を取りまく現状と課題～」	市民	ミュージア川崎 研修室
11月1日	川崎区役所 地域みまもり支援センター	川崎区すくすく子育てボランティア養成講座「ボランティアって何？～楽しく続けていくために～」	市民	川崎区役所
11月7日	多摩区役所 生涯学習支援課	多摩市民館エンパワーメント講座 「生涯学習ボランティアを始めるために」	市民	多摩市民館
12月20日	中原区社会福祉協議会	いきいきリーダー養成講座 「市民活動をより効果的に行うために」	市民	福祉パルなかはら
2月16日	宮前区役所 生涯学習支援課	宮前市民館 シニアの社会参加支援事業「ボランティア活動で地域デビュー！」	市民	宮前市民館
3月10日	宮前区役所 生涯学習支援課	宮前区生涯学習交流集会 「市民自主学級・市民自主企画事業終了後の継続した活動に必要なこと」	市民	宮前市民館
3月18日	市民文化局 市民文化振興室	出会う！繋がる！パラアート交流会	市民	てくのかわさき

## (6) 連絡調整事業

### ア 川崎市社会福祉協議会との連絡調整会議の開催

4月11日に川崎市社会福祉協議会・ボランティア活動振興センターとの連絡調整会議を開催し、事業計画書についての情報交換及び共催事業についての調整等を行いました。

### イ 川崎防災ボランティアネットワークの運営

団体間の情報交換と連携協力を図るため、定例会を7月20日に開催し、12団体の参加がありました。また、市からの要請に基づき、平成29年度川崎市総合防災訓練（麻生区、8月27日実施）に参加・協力しました。

### ウ 大学と市民活動団体との連携・協働の支援

専修大学ネットワーク情報学部と連携し、市民活動団体の広報支援を実施しています。平成29年度は10団体が参加し、団体のプロモーション映像やパンフレットの作成を行い、5団体の映像作品がかながわ市民映像祭2017において入賞し、うち1団体が優秀賞を受賞しました。

### エ 市・区の市民活動支援担当者との定期的情報交換会等の開催

市民活動推進課（市民文化局）との定例会を11回開催しました。また、市民活動支援に関する会議を開催するため、区役所の市民活動支援担当者と準備会を2回、「中間支援ネットワーク会議」として2回開催しました。

## (7) かわさき市民公益活動助成金運営事業

平成29年度のかわさき市民公益活動助成金運営事業に関わる審査等の実施状況は、次のとおりです。

また、平成28年度公開事業報告会を4月9日に実施しました。

審査委員会	第二次審査・公開プレゼンテーション（4月15日、16日）	
審査結果	スタートアップ助成 ・申請23団体 交付16団体 ステップアップ助成（30・100・200） ・申請53団体 交付46団体	合計 ・申請84団体 ・交付70団体
	組織基盤強化助成 ・申請8団体 交付8団体	
交付総額 （決算額）	19,137,407円 （内訳＝川崎市：15,812,407円・河川財団：3,325,000円）	
その他	組織基盤強化フォーラム（6月4日）※平成28年度組織基盤強化助成報告会 参加者49名（35団体）、出展数10企業・団体	

なお、募集期間は平成28年11月15日～平成29年2月28日でした。また、第一次審査（書類審査）のための審査委員会を2月27日および3月6日に開催しました。

## (8) 川崎災害ボランティア活動助成事業

平成29年度は申請件数・交付件数ともに0件でした。

## (9) 賛助会員の確保

種別	会費 (1口)	平成 28 年度末			平成 29 年度末		
		会員数	口数	賛助総額	会員数	口数	賛助総額
個人会員	1,000 円	65 人	163 口	163,000 円	75 人	163 口	163,000 円
団体会員	5,000 円	33 団体	39 口	195,000 円	31 団体	34 口	170,000 円
合 計		98 人・団体	202 口	358,000 円	106 人・団体	197 口	333,000 円

## (10) 募金・寄付等の取組

### ア 熊本地震復興義援金

熊本地震の被災地への募金を募り、市民から 5,507 円の協力があり、公益財団法人神奈川新聞厚生事業団へ寄付をしました。

### イ ボランティア・市民活動募金

募金箱を当センター窓口やご協力を得た市内事業者各店舗へ設置しています。募金箱その他を合わせて、平成 29 年度は 121,226 円の寄付がありました。

また、一般社団法人生命保険協会神奈川県協会（幹事会社住友生命保険相互会社川崎支社）から、200,000 円の寄付がありました。

## (11) 川崎市からの受託事業

### ア 川崎市市民活動補償制度運営事業

川崎市市民活動補償制度運営事業（ボランティア保険事業）の今年度の状況は、次のとおりです。

期 間	申請件数	支払件数	支 払 額	昨年度実績
平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月	26 件	16 件	496,800 円	2,562,028 円

なお、平成 25 年度から町内会等から要請がある場合は、当センター職員を派遣し、本事業についての説明等を行い、制度の周知・広報に努めています。

開 催 日	主 催 者	対象者	開催場所
5 月 30 日	中原区地域振興課	市民	中原区役所
6 月 1 日	中原区道路公園センター	市民	中原区役所
7 月 12 日	幸区道路公園センター	市民	幸区役所
8 月 23 日	宮前区道路公園センター	市民	宮前区役所
8 月 30 日	高津区道路公園センター	市民	高津区役所
11 月 14 日	麻生区道路公園センター	市民	麻生区役所
12 月 14 日	川崎市公園緑地協会	市民	中原区役所
1 月 18 日	多摩区道路公園センター	市民	多摩区役所
2 月 28 日	川崎区道路公園センター	市民	サンピアン川崎

## イ 川崎市協働・連携ポータルサイト「つなぐっどKAWASAKI」管理・運営事業

川崎市から、協働・連携ポータルサイト「つなぐっどKAWASAKI」のコンテンツ情報の拡充などを行う管理・運営業務を受託しました。

## ウ 中原区子育て支援者養成事業

中原区が地域課題対応事業の一つとして実施している「平成 29 年度子育て支援者養成事業」を受託しました。同事業として、ボランティア入門講座（全 1 回）、子育て支援者養成講座（木曜日コース、水曜日コース各 5 回）、フォローアップ講座（全 2 回）を実施しました。

### ボランティア入門講座

開催日	内 容		参加数	開催場所
7月6日	テーマ	始めの一步を踏み出そう 地域で活かせる自分になる	34人	中原区役所
	講師	かわさき市民活動センター 理事長 小倉敬子		

### 子育て支援者養成講座（木曜日・水曜日コース）

開催日		内 容	参加数	開催場所
木曜コース	水曜コース			
9月21日	11月1日	テーマ ・オリエンテーション・自己紹介 ・中原区の子育て支援施策について 講師 ・中原区役所職員、 当センター講座担当	木曜コース 6人 水曜コース 11人	当センター 会議室ほか
9月28日	11月8日	テーマ ・子育て支援活動団体との交流 講師 ・子育て支援活動団体		
9月29日～ 10月11日	11月9日～ 21日	テーマ ・子育て支援場所見学 講師 ・子育て支援活動団体		
10月12日	11月22日	テーマ ・子育てを取り巻く環境の変化と課題 ・子育て中の保護者への理解と支援のあり方 講師 ・山澤和子（日本女子大学客員准教授）		
10月19日	11月29日	テーマ ・振り返りとまとめと今後について 講師 ・当センター講座担当		

### フォローアップ講座（水曜日 2回）

開催日	内 容		参加数	開催場所
2月21日	テーマ	・子育て中の親への理解や対応について	5人	センター 会議室
	講師	・西野博之（NPO 法人フリースペースたまりば理事長）		
2月28日	テーマ	・平成 28 年度受講生との交流		
	講師	・平成 28 年度受講生		

## (12) 職員研修

職員の資質向上や必要とする知識習得等を目的に、市内外で開催される研修やシンポジウムなどに派遣しました。

開催日	主催者	内 容	開催場所
5月12日	東京ボランティア・市民活動センター	そもそも中間支援って？～中間支援組織の役割・価値を学ぶ～	飯田橋セントラルプラザ
6月6日	日本財団CANPAN	小規模多機能自治の集い	日本財団ビル
6月9日 23日 30日	mass×mass 関内フューチャーセンター	神奈川県 NPO 支援機関セミナー	mass×mass 関内フューチャーセンター
6月16日	麻生市民館	あなたが素敵なまちを創る～地域活動のススメ～	麻生市民館
7月6日	日本財団CANPAN	広報を溺愛する人の時間 part2	日本財団ビル
9月27日	協働ステーション中央	イラストで思いを見える化する「グラフィックレコーディング」①	協働ステーション中央
10月4日	協働ステーション中央	イラストで思いを見える化する「グラフィックレコーディング」②	協働ステーション中央
10月25日	協働ステーション中央	共創パートナーシップ（市民活動専門講座）	協働ステーション中央
10月28日	とつか区民活動センター	団体キャッチコピーづくり	とつか区民活動センター
11月1日	県立かながわ県民活動サポートセンター	ボランティア活動支援施設 CEO ミーティング	県民活動サポートセンター
11月8日	協働ステーション中央	共創パートナーシップ（市民活動専門講座）	協働ステーション中央
2月15日 ～17日	公益社団法人日本フィランソロピー協会	アメリカン・エクスプレス・リーダーシップ・アカデミー2018	都市センターホテル
2月17日	川崎市	かわさきプロボノ 2017 報告会 プロボノで地域貢献～川崎スタイル～	カルッツかわさき
3月4日	NPO 法人こまちぶらす NPO 法人 CR ファクトリー	こまち流“まちの担い手”が育つ場のコーディネート研究実践報告	日本財団
3月31日	公益社団法人長寿社会文化協会	第8回コミュニティカフェ全国交流会	東京しごとセンター

## (13) その他

### ア 川崎市社会福祉事業功労者表彰（市長表彰）

第55回川崎市社会福祉大会において表彰される川崎市社会福祉事業功労者（市長表彰）として、大下勝巳氏（NPO 法人かわさき創造プロジェクト）を推薦したところ、長年の功績が認められ受賞しました。

## 2 青少年健全育成事業

これまでの経験と知識を活かし、こども文化センター52館・わくわくプラザ101施設の適切な管理・運営に努めました。平成29年度の主な取組は次のとおりです。

### (1) こども文化センター事業

#### ア 基本方針

こども文化センターでは、子どもたちの安全確保を旨とし、子どもたちが安心して楽しく過ごせる居場所づくりに取り組みました。また、遊びや行事等にも工夫を凝らし、子どもたちが楽しく過ごせるよう努め、併せて、地域の活動拠点としての利用を促進しました。

こども文化センター利用状況推移表

利用者別	27年度 (53館)	28年度 (52館)	29年度 (52館)	前年度比較(増減)
乳幼児	306,541人	310,189人	297,274人	△12,915人
小学生	735,155人	707,812人	684,186人	△23,626人
中学生	211,417人	208,828人	213,712人	4,884人
高校生	42,854人	41,996人	36,993人	△5,003人
成人	416,643人	412,913人	400,816人	△12,097人
利用者合計 (一館あたり)	1,712,610人 (32,313人)	1,681,738人 (32,341人)	1,632,981人 (31,403人)	△48,757人 (△938人)
内団体利用人数	321,396人	310,638人	294,601人	△16,037人

※28年度より小杉こども文化センターが休止となり、52館受託になりました。

#### イ 安全・安心の確保

児童の安全・安心の確保は本事業の基本であり、職員一人ひとりがそのことを常に念頭に置いて日々の業務にあたるよう心がけるとともに、本部・各館が一丸となって事故ゼロ運動を推進するなど、各種安全対策について積極的に取り組みました。

##### (ア) 事故防止対策

こども文化センターでは、遊具等の安全確認と不具合箇所の整備を徹底するとともに、定期的に施設の内外の見回り等を実施し事故防止に努めました。また、利用児童が怪我を負った場合は「事故対応マニュアル」に基づいて、迅速かつ適切に対応しました。

##### (イ) 防犯対策

川崎市は今年度5月、防犯対策として各こども文化センターの外側に防犯カメラを設置しました。そのため、館ごとに「防犯カメラ運用マニュアル」を策定し、適正な管理運用を図りました。また、不審者等への対応については「こども文化センター版不審者マニュアル」に基づいて、利用児童及び利用者の安全の確保に努めました。

##### (ウ) 防災対策

災害に対する備えとして「災害時対応マニュアル」に基づいて、防災用品の点検や避難訓練を実施するとともに、災害伝言ダイヤルを活用した連絡手段を利用者に周知しました。

## (工) その他の安全対策

各館では、利用児童と共に地域の危険個所を確認しながら安全マップを作成し、館内に掲示することを通じて、子供たちの安全意識の高揚に努めました。

食物アレルギーへの対応については、次の基本ルールを遵守し、子どもたちのアレルギー事故防止に取り組みました。

施設名	対応策
こども文化センター	①当財団が単独で主催する行事等で食物を提供する場合は、事前申込制とし、アレルギーの確認については、児童ではなく、保護者にいただくことを基本とする。 ②共催行事等で、食物を提供する場合は、上記ルールの適用を保護者や関係者の理解を得ながら進める。
わくわくプラザ 共通	①アレルギーを持つ児童が差別されないよう、食物アレルギーについての啓発活動に努める。 ②児童がアナフィラキシーショックを起こした場合に備え、アドレナリン自己注射薬（エピペン）の投与等、応急処置ができるようにアレルギー研修の受講を職員に義務付ける。

## ウ 複数館による合同事業の開催

### (ア) 全市域合同事業の取組

#### ① ゴーゴー☆かわさキッズ ～マンカラ大会・子どもサミット～

マンカラ大会・子どもサミットは、平成29年12月9日（土）に中原市民館で開催しました。マンカラ大会の予選参加者（各館の計）は5,690名、子どもサミットの各施設での話し合い及び活動参加者（各館の計）は19,117名、当日のマンカラ本選参加者、サミット代表参加者及び応援参加者等の計は538名、合計24,807名の子どもたちの参加がありました。

マンカラ大会では、昨年度までは中原市民館の各部屋に分かれて実施していたものを、今年度は大きな会場（多目的ホールと体育室）に集約して実施しました。会場の配置を見直したことにより、統一的な運営を実現するとともに、応援者の観覧スペースを広く確保することができました。

子どもサミットでは、代表児童が「ちいきっず役立ち隊～ありがとうの音が響く町～」をテーマに、これまで各施設で行った交流、エコ、美化、防犯・防災等の活動を発表し意見交換をしました。今年度は、「いいねシール」等を活用したことで、活発な意見交換につながり、参加した子どもたちも達成感を味わうことができました。また、意見交換をとおして互いの良さを認め合う経験を積むことができました。

#### ② ゴーゴー☆かわさキッズ ～BUNBUNステージ～

BUNBUNステージは、平成30年1月27日（土）に高津市民館で開催され、出演者のその他、一般観覧児童、保護者を含め総勢913名の参加がありました。

出演は、23団体（うち小学生・高校生バンド3団体）387名で、創作ダンス、けん玉、フラダンス、空手演武、バンド演奏等がありました。今年度は、わくわくプラザから「ミュージカル」が発表され、児童の発表が自由でのびのびとした姿が印象的でした。

また、新たな取り組みとして司会を有志児童が行いました。子ども司会は出演団体児童のインタビューや幕間のクイズの出題など、職員司会との掛け合いを楽しみながら、大きな舞台での大役を務めました。

## (イ) 区及びグループ単位の合同事業

同一区内又はグループ内児童の親睦と交流の輪を広げることを目的として、各こども文化センターが様々な行事に取り組みました。

### ① 区単位の合同事業

区	開催日	内 容	参加数	開催場所
川崎区 9 館	8月8日	舞台鑑賞会 マジックショー	254人	教 育 文 化 会 館 室 大 会 議 室
	11月11日	合同事業 スマイルフェスタ 2017 ～こぶんわくわく・ゲームランド～	233人	富 士 見 中 学 校 館 体 育 館
幸 区 6 館	8月1日	舞台鑑賞会 ゆかいなコンサート	172人	幸 大 市 民 議 館 室
	9月16日	合同事業 夢と希望のまち・2017 ～さいわい区幸福町～	270人	戸 手 小 学 校 館 体 育 館
中 原 区 9 館	8月18日	舞台鑑賞会 アンディ先生のマジック イリュージョンショー!	493人	川崎市総合福祉センター (工ボックなかはら)
	12月2日	合同事業 なかはら★キッズらんど ～ようこそ!あそびのひろばへ～	583人	玉 川 小 学 校 館 体 育 館
高 津 区 7 館	9月16日	合同事業 こぶんたクエスト ～勇者は君だ!～	186人	上 作 延 小 学 校 館 体 育 館
	12月27日	舞台鑑賞会 アンディ先生のマジック& イリュージョンショー!	498人	高 津 市 民 館 大 ホ ー ル
宮 前 区 6 館	8月22日	舞台鑑賞会 アンディ先生のマジック& イリュージョンショー!	499人	川崎市総合福祉センター (工ボックなかはら)
	12月16日	合同事業 ドッジビー大会 ～みやりんピック シーズン8～	252人	土 橋 小 学 校 館 体 育 館
多 摩 区 7 館	8月2日	舞台鑑賞会 アンディ先生のマジックショー	169人	多 摩 市 民 館 室 大 会 議 室
	9月20日	合同事業 空前絶後のオオオ!!!大・運・動・会! イエエーイ!!	192人	中 野 島 小 学 校 校 庭
麻 生 区 8 館	9月30日	合同事業 麻生キッズ海賊団 2017～はじまりの海～	321人	王 禅 寺 ふ る さ と 公 園
	2月10日	舞台鑑賞会 魔法つかいのおとぎばなし	260人	麻 生 小 学 校 体 育 館

### ② グループ単位の合同事業

グループ	開催日	内 容	参加数	開催場所
川崎区 第 1 G	7月1日	3館GODOデイキャンプ 2017	60人	横 浜 市 三 ッ 沢 公 園 青 少 年 野 外 活 動 セ ン タ ー
	8月24日	食育おでかけ講座	39人	渡 田 こ ど も 文 化 セ ン タ ー
	11月25日	カローリング大会	44人	向 小 学 校 館 体 育 館
	12月25日	おと絵がたり	103人	旭 町 こ ど も 文 化 セ ン タ ー
	3月27日	3館GODOマンカラ大会	65人	旭 町 こ ど も 文 化 セ ン タ ー

グループ	開催日	内 容	参加数	開催場所
川崎区 第2G	9月17日～ 9月18日	E-じゃんキャンプ2017	59人	川崎市青少年の家
	12月16日	E-じゃんけん玉 ～けん玉パークで遊ぼう～	49人	東門前小学校ナ ア
	2月24日	腹話術を楽しもう	90人	東門前小学校ナ ア
川崎区 第3G	7月25日	第4回わくわくマンカラ大会	98人	東小田小学校 わくわくプラザ
	12月26日	わくりんぴっく2017	102人	渡田小学校 校館
	2月3日	かわさきウインターコンサート	83人	神奈川県立川崎高等学校 視聴覚ホール
幸区 第1G	11月25日	巨大地震体験！～そのときどうする～	44人	戸手小学校 校館
	12月25日	わくわくプラザ対抗ドッジボール大会	138人	戸手小学校 校館
	2月10日	はっぴーらいぶ2018	90人	南河原 こども文化センター
幸区 第2G	10月9日	フィールド行事「謎解きは、東芝未来科学館前に」	50人	夢見ヶ崎公園 東芝未来科学館
	11月29日	トリプルハッピー♪ドッジボール大会	90人	日吉小学校 校館
	12月26日	トリプルハッピーフェス2017	163人	小倉小学校 校館
中原区 第1・2G	10月11日	マンカラ交流戦	50人	住吉こども文化センター
	10月28日	橋高校吹奏楽部コンサート	107人	橋第2アリーナ
	1月5日	新春むかしあそびゲームラリー	103人	住吉小学校 校館
中原区 第3G	11月18日	マンカラ交流戦	51人	玉川こども文化センター
	12月28日	なかよしカップ～こ文対抗運動会～	79人	荻宿小学校 校館
中原区 第4G	7月17日	野外活動 林試の森へ行こう	67人	林試の森
	10月18日	乳幼児親子と高校生とのふれあい交流会	50人	新城こども文化センター
	12月27日	わくわく交流会	127人	大戸小学校 校館
高津区 第1G	7月1日	あついで！ドッジスタジアム ファイヤーボールカップ	137人	下作延小学校体育館
	8月8日	カップスタックス&ジャグリングショー	71人	上作延 こども文化センター
	10月21日～ 10月22日	みんなで掘ろうモグラレンジャー	38人	黒川青少年 野外活動センター
高津区 第2G	6月17日	ニヶ領用水クリーン大作戦	40人	ニヶ領用水沿い
	8月8日	第5回 わくりんピック	74人	しながわ水族館
	10月14日～ 10月15日	ヴィレッジキャンプ2017	39人	愛川ふれあいの村

グループ	開催日	内 容	参加数	開催場所
高津区 第2G	1月5日	ふれあい囲碁	42人	東高津 こども文化センター
	3月17日	ニヶ領用水クリーン大作戦	31人	ニヶ領用水沿い
高津区 第3G	7月30日	野外活動 ともだち倍増計画・サマーデイキャンプ2017	58人	くろがね青少年 野外活動センター
	11月4日	ともだち倍増計画2017～日本民家園と プラネタリウムを見に行こう！～	57人	日本民家園 かわさき宙と緑の科学館
	1月13日	ともだち倍増計画 ドッジボール大会2018	107人	子母口小学校体育館 子母口 こども文化センター
宮前区 第1G	7月23日～ 7月24日	おとまりだ！キャンプだホイ！	60人	青少年の家
	11月11日	オータムコンサート&絵本の読み聞かせ	54人	有馬こども文化センター
	2月3日	防犯スポーツプロジェクト	58人	宮崎小学校 体育館
宮前区 第2G	9月30日	ら・ら・らふれんど デイキャンプ	60人	黒川青少年野外活動セン ター
	1月5日	ら・ら・らふれんど新春運動会2018	85人	平体小学校 体育館
	2月10日	ら・ら・らふれんど科学技術館へ行こう！	60人	科学技術館
	3月18日	ら・ら・らふれんどポップングパーティー	50人	平こども文化センター
多摩区 第1G	6月10日	夜のおさんぽ in ホタルの国	44人	生田緑地
	6月24日	ドッジボール☆チャンピオンシップ	57人	稲田小学校体育館
	11月11日	きみも岡本太郎になろう！	32人	岡本太郎美術館
	1月10日	スポーツスタッキング☆チャンピオンシップ	30人	枅形こども文化センター
多摩区 第2G	6月17日	ホタルの国でナイトハイク	34人	生田緑地
	11月25日	ゲームアイランド～全ての島を制覇しよう！～	47人	生田小学校体育館
	2月24日	めざせ冒険王！！～そうだ、こどもの国へ行こう！～	49人	こどもの国
多摩区 第3G	11月11日	地域ふれあいステージ	280人	西菅小学校体育館
	12月16日	地域ふれあいステージたまリンピック2017～飛ばしてあそぼう～	56人	中野島小学校アリーナ
麻生区 第1G	8月22日	Let's☆チャレカラカップ!!2017 ～マンカラ交流戦&流しそうめん～	116人	百合丘 こども文化センター
	10月21日	頭脳カードバトル～BABAぬき編～ (雨天プログラム)	88人	百合丘 こども文化センター
	3月17日	乳幼児と高校生のふれあい交流会	40人	千代ヶ丘 こども文化センター
麻生区 第2G	6月10日	Oh!!カーニバル!巨大迷路で迷探偵?	73人	王禅寺中央小学校体育館
	11月11日	Oh!!カーニバル!秋の自然で焼き芋体験	42人	虹ヶ丘 こども文化センター
麻生区 第3G	7月1日	フレンズキャンプ2017	49人	黒川青少年 野外活動センター
	12月2日	フレンズステージ2017	196人	麻生小学校体育館
	1月20日	フレンズカップ2017	56人	麻生スポーツセンター

## エ 乳幼児の子育て支援

平成29年度は、延べ5,736団体（1館平均110団体）の乳幼児サークルの利用がありました。各館では、場の提供による支援に加え、館独自の乳幼児向け行事として「だっことおんぶのおはなし会」「パパとベビーマッサージ」「食育ひろば」等を実施しました。また、関係諸団体の協力を得た行事として「親子で遊ぼう世界の言葉」「おはなしコンサート」等を開催しました。さらに、地域子育て支援会議等に参加し、情報交換を行うと共に、地域の子育てネットワーク作りにも積極的に参画しました。

## オ 中学生及び高校生の利用促進

中学生・高校生の利用に際しては、主体的な活動の尊重・支援を基本とし対応しました。

また、異年齢交流行事として「ガラスアート」「わんぱくひろば～中高生のお姉さんと一緒に遊ぼう～」等を実施し、交流を深めたほか、「地域卓球名人との真剣勝負!!」「キャンドルナイトコンサート」等、様々な工夫を凝らした行事に取り組み、利用の促進を図りました。

音楽室が設置されている南河原、宮崎及び白山こども文化センターについては、中学生・高校生のほか、地域音楽活動の拠点としての利用促進を図りました。

### 音楽室の利用状況

施設名	利用者	27年度	28年度	29年度	前年度比較 (増減)
南河原	小学生	25人	391人	537人	146人
	中学生	158人	293人	393人	100人
	高校生	422人	671人	237人	△434人
	一般	555人	626人	461人	△165人
	合計	1,160人	1,981人	1,628人	△353人
	団体数	679団体	871団体	663団体	△208団体
宮崎	小学生	10人	31人	81人	50人
	中学生	82人	36人	24人	△12人
	高校生	379人	469人	813人	344人
	一般	975人	780人	996人	216人
	合計	1,446人	1,316人	1,914人	598人
	団体数	994団体	929団体	1,256団体	327団体
白山	小学生	6人	6人	11人	5人
	中学生	24人	82人	80人	△2人
	高校生	1,009人	706人	642人	△64人
	一般	1,220人	1,152人	1,312人	160人
	合計	2,259人	1,946人	2,045人	99人
	団体数	1,135団体	1,150団体	1,266団体	116団体
計	小学生	41人	428人	629人	201人
	中学生	264人	411人	497人	86人
	高校生	1,810人	1,846人	1,692人	△154人
	一般	2,750人	2,558人	2,769人	211人
	合計	4,865人	5,243人	5,587人	344人
	団体数	2,808団体	2,950団体	3,185団体	235団体

## カ 不登校児への対応

不登校児が来館した際に備え、より適切な対応ができるよう、専門研修を実施するなど、職員のスキルアップに取り組みました。また、不登校児の利用があった場合は、状況を把握し学校等関係機関と連携して、対応しました。

## キ 地域活動拠点としての利用推進

こども文化センターは地域の児童の健全育成に寄与するという目的施設ですが、児童の利用が少ない時間帯を中心として、引き続きホームページで空き室の状況を把握できるようにするなど利便性を向上し、地域のボランティアや市民活動団体等の方々の利用促進にも取り組みました。

平成29年度は、延べ20,660団体（1館平均397団体）の利用があり、会議や打合せのほか、陶芸、オカリナ、生花といった趣味の活動の場としても利用されました。そうした利用者の一部の方には、子どもたちに卓球の指導や音楽鑑賞会、乳幼児への読み聞かせ等、ボランティアとして様々なご協力をしていただきました。

### 団体利用状況

団体種別	27年度 (53館)	28年度 (52館)	29年度 (52館)	前年度比較 (増減)
青少年	4,896 団体	4,490 団体	4,096 団体	△394 団体
市民活動	10,699 団体	10,350 団体	10,421 団体	71 団体
幼児G	6,131 団体	5,960 団体	5,736 団体	△224 団体
その他	494 団体	422 団体	407 団体	△15 団体
計	22,220 団体	21,222 団体	20,660 団体	△562 団体

※28年度より小杉こども文化センターが休止となり、52館受託になりました。

## ク 地域と一体となった事業運営の推進

### (ア) 運営協議会との連携強化

全てのこども文化センターでは、地域と連携した館運営を行うために、設置している運営協議会へ地域の方々に委員として参加していただいています。運営協議会では、こども文化センターの様々な課題について協議を行い、施設利用のルール作りや地域団体との橋渡しを担うとともに、行事等にも積極的に参画していただくなど、その役割は多岐にわたっています。平成29年度は、全市で282回（各館平均5回）の運営協議会が開催され、延べ2,983名の運営委員の方に参加していただきました。各館では、運営協議会の委員の方々に、多くのご支援・ご協力をいただき、「まちのちいさなおんがくかい」「グリーンアドベンチャークラブ」「子ども竹づつわんこそうめん」「天体観測ナイト&大型絵本の読み聞かせ」等の特色ある行事を開催しました。

また、区ごとに各館の運営協議会代表者が参加する「区運営協議会」を開催しました。29年度は、全区で13回開催され、延べ94名の委員の方が参加し、各館で取り組んでいる行事の計画・報告や各館共通の課題等について協議していただきました。

各館の運営協議会及び区運営協議会で出された意見や結論を集約し、行事の日程や内容など、こども文化センターの運営に活かしました。

## (イ) 地域関係機関・関係団体との連携の強化

こども文化センターの円滑な事業運営に資するために、生涯学習推進会議、地域教育会議の会議に出席し、地域情報を得るとともに、こども文化センターの情報を提供するなど、情報の共有を図りました。

また、区役所（保健福祉センター・地域みまもり支援センター等）、地域団体（子ども会等）が実施する行事に積極的に参加し、地域関係機関等との連携強化に努めました。

主催者	開催日	内容（総数）	参加数	開催場所
川崎区	10月28日	子育てフェスタ(1,200人)	450人	教育文化会館
幸区	2月24日	みんなで子育てフェアさいわい(900人)	250人	幸市民館
中原区	11月25日	なかはら子ども未来フェスタ(4,000人)	500人	中原区役所
高津区	8月27日	高津区子どもフェア(1,400人)	130人	新二子橋下周辺
高津区	11月18日	高津区子ども・子育てフェスタ(1,700人)	210人	高津市民館
宮前区	10月21日	みやまえ子育てフェスタ2017 (1,400人)	250人	宮前市民館
宮前区	12月3日	みやまえ福祉フェスティバル(2,000人)	600人	宮前市民館
多摩区	9月17日	たまたま子育てまつり(3,000人)	435人	多摩区役所
麻生区	9月16日	あさお子育てフェスタ(2,300人)	670人	麻生区役所
麻生区	3月11日	麻生区子ども会連合会こどもまつり (700人)	208人	麻生市民館

※参加数は、各こ文から引率参加した児童数及び出店したブース等に参加した児童数の合計です。

## (2) わくわくプラザ事業

### ア 基本方針

わくわくプラザは、すべての小学生を対象としています。そのため、日頃から小学校との連携を密にして、子どもたちの様子や学校の月間スケジュール、わくわくプラザの行事日程等の情報交換を行っています。子どもたちが、放課後・土曜・長期休業日等に安心して楽しく過ごせ、保護者が安心して子どもを託すことができる事業運営に努めました。

また、平成27年度より、わくわくプラザの一機能である放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）への職員配置に対して、放課後児童支援員という資格が創設されました。さらに、平成29年度には、放課後児童支援員の経験年数に対して、行政より処遇改善費用が補助される「放課後児童支援員キャリアアップ処遇改善事業」が開始されたため、職員及び臨時職員の資格取得と処遇改善を推進しました。

わくわくプラザ利用状況（101校）年間利用状況推移表

在 校 児 童 数	27 年 度	28 年 度	29 年 度	前年度比較（増減）
在 校 児 童 数	63,801 人	64,356 人	65,010 人	654 人
登 録 児 童 数	30,575 人 (872 人)	31,241 人 (908 人)	32,097 人 (969 人)	856 人 (61 人)
登 録 率	48%	49%	49%	—
利 用 人 数	1,777,713 人 (73,261 人)	1,854,991 人 (80,497 人)	1,993,858 人 (84,297 人)	138,867 人 (3,800 人)
1 日 平 均 利 用 者 数	6,046 人 (249 人)	6,374 人 (276 人)	6,805 人 (288 人)	431 人 (12 人)

※（ ）内は特別な支援を必要とする児童の内数

## イ 安全・安心の確保

児童の安全・安心の確保は本事業の基本であり、職員一人ひとりがそのことを常に念頭に置いて日々の業務にあたるよう心がけています。また、事故ゼロ運動を推進するなど、本部・各館一丸となって事故防止に取り組みました。

### （ア）事故防止対策

わくわくプラザでは、遊具の安全確認と不具合箇所の整備を徹底するとともに、児童全体を見守れるようなスタッフ配置を行っています。また、児童用ビブス・トランシーバー等の活用、外遊び前には準備体操を行うなど、事故防止を講じ、利用児童が怪我を負った場合は「事故対応マニュアル」に基づいて、迅速かつ適切な対応に努めました。さらに、夏休み等の長期休校期間の朝に、短時間で外遊びや室内遊び等を工夫して取り入れる「わくドキタイム」を実施し、子どもたちが落ち着いて過ごせる環境を整えました。

### （イ）防犯対策

防犯については、訪問者の目的や様子を把握するため、職員からあいさつを行うなど、不審者侵入の抑制に努めました。また、学校門が開錠されている土曜日、長期休校期間及び子育て支援・わくわくプラザ実施時間には、プラザ室玄関を施錠し、迎えに来た保護者の確認を行うなどの対応をしました。不審者情報については、神奈川県警察の「ピーガルくん・こども安全メール」を利用し、各わくわくプラザの職員が適切な対応がとれるようにするとともに、子どもの安全に関する様々な情報や指示を、適宜、本部から各こども文化センターを経由して各わくわくプラザに伝達し、事件・事故の予防、安全・安心の確保に努めました。

### （ウ）防災対策

災害に対する備えとして「災害時対応マニュアル」に基づいて、災害に関する地域情報の把握、防災用品の確認や避難訓練等を実施するとともに、年2回、学校と災害時対応マニュアルの確認を行い、保護者に対しても、災害時等の対応や連絡、引き取り方法等を周知しました。また、災害伝言ダイヤルを活用した連絡手段を利用者に周知しました。

### （エ）その他の安全対策

利用児童及び保護者に安全への意識を促すため、児童と共に地域の危険箇所を確認し、安全マップを作成・掲示しました。

食物アレルギーへの対応については、次の基本ルールを策定し、子どもたちのアレルギー事故防止に取り組みました。

施設名	対応策
わくわくプラザ	①わくわくプラザ登録時にアレルギーを持つ子どもの保護者に「食物アレルギー調査票」の提出をお願いし、さらにおやつ申込時に、原材料名(成分表)が記載されたメニュー表をもとに、保護者にアレルギーチェックをお願いする。 ②子どもにおやつを配布するときには、必ず複数の職員が「食物アレルギー調査票」に基づきチェックします。アレルギーとなる成分が入っているおやつについては、当該児童の保護者に手渡す。このとき、おやつが食べられなかった児童には、十分な説明をする。
こども文化センター 共通	①アレルギーを持つ児童が差別されないよう、食物アレルギーについての啓発活動に努める。 ②児童がアナフィラキシーショックを起こした場合に備え、アドレナリン自己注射薬(エピペン)の投与等、応急処置ができるようにアレルギー研修の受講を職員に義務付ける。

### ウ 特別な支援を必要とする児童等への対応

平成29年度のわくわくプラザにおける、特別な支援を必要とする児童登録数は969名でした。特別な支援を必要とする児童に対し、より適切な対応が行えるよう、元特別支援学校の教諭や小学校の校長経験者等の巡回相談員を8名配置しました。巡回相談員は、豊かな経験と専門知識を持ち、当該業務に従事するスタッフのアドバイザーとして、またスタッフ研修の講師として活躍しています。

また、学校との日頃からの連携・情報の共有に努めるとともに、発達相談支援センター・児童相談所・地域療育センター等の関係諸機関との連携強化にも取り組みました。

### エ わくわくプラザ学習タイムの実施

子どもたちの学習習慣の形成を図るため、引き続きボランティアや臨時職員からなる専任アドバイザーを配置し、落ち着いて自学・自習ができる時間と場所を確保して、学習タイムを実施しました。

### オ わくわくプラザ事業開設時間拡充への対応

川崎市は、平成29年度より長期休業期間の平日におけるわくわくプラザの開室時間を従来の8時30分から8時に拡充するモデル事業を開始しました。当財団では、この業務を川崎市から受託し、4施設のわくわくプラザにおいて実施しました。

### カ 子育て支援・わくわくプラザ事業への対応

「子育て支援・わくわくプラザ事業」とは、川崎市が実施している事業で、就労等により、わくわくプラザの門限である午後6時までに児童の迎えが難しい保護者のため、午後7時までわくわくプラザを延長するサービスのことです。当財団は、この業務を川崎市から受託し、全わくわくプラザで実施しました。

#### 利用状況

種別	27年度	28年度	29年度	前年度比較 (増減)
登録児童数	2,431人 (73人)	2,482人 (69人)	2,643人 (69人)	161人 (0人)
延べ利用人数	129,550人 (5,144人)	128,190人 (3,887人)	137,561人 (3,241人)	9,371人 (△646人)
1日平均利用人数	533人 (21人)	536人 (16人)	564人 (13人)	28人 (△3人)

※ ( ) 内は特別な支援を必要とする児童の内数

### (3) 地域子育て支援センター(連携型)事業

「地域子育て支援センター(連携型)」とは、川崎市が実施している地域子育て支援事業の一つで、比較的利用の少ない午前中のこども文化センターを利用し、子育て中の親子の交流の場や子育てに関する相談・援助の場として、また地域の子育て情報の提供の場として設置されています。

当財団は、この業務を今年度、9ヶ所で受託し、「ふぁみいゆ」という名称で週3日（9：30～12：30）開設しました。

#### 利用状況

区	施設名	年 度	27年度	28年度	29年度	前年度比較 (増減)
川崎区	ふぁみいゆ 殿 町	児 童	2,763 人	2,102 人	1,876 人	△226 人
		成 人	2,287 人	1,641 人	1,571 人	△70 人
		合計人数	<b>5,050 人</b>	<b>3,743 人</b>	<b>3,447 人</b>	<b>△296 人</b>
	ふぁみいゆ 田 島	児 童	2,177 人	2,450 人	1,989 人	△461 人
		成 人	1,806 人	2,301 人	1,691 人	△610 人
		合計人数	<b>3,983 人</b>	<b>4,751 人</b>	<b>3,680 人</b>	<b>△1,071 人</b>
	ふぁみいゆ 浅 田	児 童	2,959 人	2,886 人	2,762 人	△124 人
		成 人	2,330 人	2,263 人	2,169 人	△94 人
		合計人数	<b>5,289 人</b>	<b>5,149 人</b>	<b>4,931 人</b>	<b>△218 人</b>
幸区	ふぁみいゆ 南 河 原	児 童	3,034 人	3,252 人	3,169 人	△83 人
		成 人	2,856 人	3,051 人	3,040 人	△11 人
		合計人数	<b>5,890 人</b>	<b>6,303 人</b>	<b>6,209 人</b>	<b>△94 人</b>
	ふぁみいゆ 幸	児 童	2,824 人	2,920 人	2,950 人	30 人
		成 人	2,547 人	2,743 人	2,710 人	△33 人
		合計人数	<b>5,371 人</b>	<b>5,663 人</b>	<b>5,660 人</b>	<b>△3 人</b>
	ふぁみいゆ 小 倉	児 童	3,013 人	3,359 人	3,529 人	170 人
		成 人	2,635 人	2,846 人	2,945 人	99 人
		合計人数	<b>5,648 人</b>	<b>6,205 人</b>	<b>6,474 人</b>	<b>269 人</b>
中原区	ふぁみいゆ 新 丸 子	児 童	4,036 人	4,348 人		
		成 人	3,695 人	4,032 人		
		合計人数	<b>7,731 人</b>	<b>8,380 人</b>		
	ふぁみいゆ 平 間	児 童	2,612 人	2,730 人	2,651 人	△79 人
		成 人	2,255 人	2,532 人	2,388 人	△144 人
		合計人数	<b>4,867 人</b>	<b>5,262 人</b>	<b>5,039 人</b>	<b>△223 人</b>
麻生区	ふぁみいゆ 千代ヶ丘	児 童	2,496 人	2,879 人	2,318 人	△561 人
		成 人	2,198 人	2,521 人	2,173 人	△348 人
		合計人数	<b>4,694 人</b>	<b>5,400 人</b>	<b>4,491 人</b>	<b>△909 人</b>
	ふぁみいゆ 柿 生	児 童	1,196 人	1,413 人	1,407 人	△6 人
		成 人	1,130 人	1,391 人	1,351 人	△40 人
		合計人数	<b>2,326 人</b>	<b>2,804 人</b>	<b>2,758 人</b>	<b>△46 人</b>
合 計	児 童	27,110 人	28,339 人	22,651 人	△5,688 人	
	成 人	23,739 人	25,321 人	20,038 人	△5,283 人	
	合計人数	<b>50,849 人</b>	<b>53,660 人</b>	<b>42,689 人</b>	<b>△10,971 人</b>	

※29年度よりふぁみいゆ新丸子が他団体の運営となり、9館受託になりました。

※28年度の利用状況から、ふぁみいゆ新丸子分を差し引いて今年度と比較した場合、合計人数は2,591人減となりました。

#### (4) 小杉地区子ども・子育て支援推進事業

小杉地区の再開発に伴い、小杉こども文化センターが休止となったことにより、川崎市は、子ども・子育て世代が増加している小杉地区において、子どもが安心して安全に過ごすことのできる居場所として、また、小杉こども文化センターの代替的機能を持つ施設として「小杉地区子ども・子育て支援推進事業（愛称 小杉っこスペース）」を設置しました。当財団では、この業務を受託し、平成28年6月より運営を開始しました。また、平成29年10月よりプレハブ2階建て（総合自治会館隣）の施設に移転しました。

##### 利用状況

利用者別	28年度（6月～3月）	29年度（4月～3月）	前年度比較（増減）
乳 幼 児	1,255人	2,967人	1,712人
小 学 生	1,278人	3,151人	1,873人
中 学 生	33人	780人	747人
高 校 生	3人	26人	23人
成 人	1,260人	3,068人	1,808人
<b>利用者合計</b>	<b>3,829人</b>	<b>9,992人</b>	<b>6,163人</b>
内団体利用人数	0人	0人	0人

#### (5) 各事業共通事項

##### ア 多世代連携について

川崎市には高齢者の心身の健康増進を図ることを目的とした施設「いこいの家」と「こども文化センター」の合築施設が21か所あります。川崎市は、平成27年度より、多世代の交流を目的としたこども文化センター・いこいの家の連携モデル事業を実施し、29年度には単独施設の「いこいの家」と「こども文化センター」のモデル事業も開始されました。

##### こども文化センター・いこいの家の連携事業モデル事業実施施設一覧

形態	こども文化センター名	いこいの家名	いこいの家運営主体	開始年度
合築	藤崎こども文化センター	藤崎老人いこいの家	川崎市社会福祉協議会	27年度
単独	殿町こども文化センター	殿町老人いこいの家	川崎市社会福祉協議会	29年度
単独	南河原こども文化センター	南河原老人いこいの家	幸区社会福祉協議会	29年度
単独	新丸子こども文化センター	丸子多摩川老人いこいの家	中原区社会福祉協議会	29年度
合築	西加瀬こども文化センター	西加瀬老人いこいの家	中原区社会福祉協議会	28年度
単独	末長こども文化センター	末長老人いこいの家	高津区社会福祉協議会	29年度
合築	子母口こども文化センター	子母口老人いこいの家	高津区社会福祉協議会	27年度
合築	白幡台こども文化センター	白幡台老人いこいの家	特定非営利活動法人 有馬まちづくりサポ ートセンターカンアオイ	28年度
合築	錦ヶ丘こども文化センター	錦ヶ丘老人いこいの家	多摩区社会福祉協議会	28年度
単独	中野島こども文化センター	中野島老人いこいの家	多摩区社会福祉協議会	29年度
単独	千代ヶ丘こども文化センター	千代ヶ丘老人いこいの家	麻生区社会福祉協議会	29年度

各施設では、「マンカラ交流会」「乙女文楽鑑賞会・体験交流会」「絵手紙教室」「夏休みふれあい囲碁」「節句飾り作り」等の事業を実施し、こども文化センター利用者といこいの家利用者の交流を図りました。

また、モデル実施施設以外の、こども文化センター、わくわくプラザにおいても、多世代連携を目的とした事業展開を図り、「いこいの家を飾ろう」「野川の星をみよう」「囲碁と将棋の日」等を実施しました。

## イ 子ども運営会議等の活動促進

### (ア) こども文化センター

こども文化センターには、子どもたちの自主性を尊重し、行事等で子どもたちの意見を反映させるための機関として、利用児童で組織する「子ども運営会議」が設置されています。平成29年度は延べ691回（各館平均13回）開催され、延べ4,760名（各館平均92名）の参加がありました。「イラストコンテスト～ここのキャラをつくろう～」や「中高生卓球大会」「ミサング工作」等、様々な行事が子どもたちの企画・運営により実施されました。

### (イ) わくわくプラザ

わくわくプラザにも、こども文化センターと同様の趣旨で「子ども運営会議」が設置されています。平成29年度は、延べ1,397回（各わくわくプラザ平均14回）開催され、合計54,446名（各わくわくプラザ平均539名）の参加があり、「みんなに喜んでもらい隊！保育園にいこう」「ハッピーワクワクまつり」「美化キッズ」等、様々な行事が子どもたちの企画・運営により実施されました。

## ウ 体験学習の拡充

こども文化センターやわくわくプラザでは、子どもたちの豊かな人間形成をめざして、様々な体験学習を積極的に取り入れています。特にこども文化センターでは「乳幼児と中学生・高校生のふれあい事業」を推進しています。この事業は、中学生・高校生の体験はもちろんのこと、異年齢交流の側面もあわせており、乳幼児と直接ふれあった中学生・高校生だけでなく、保護者からも好評を得ました。

この他にも、市民活動団体や地域の方々に協力いただき、「楽器演奏体験」「シェアドッグ教室」「地域の環境美化」「藍染め体験」「竹細工体験」を企画・実施しました。

## エ ボランティア等との協働推進

こども文化センターやわくわくプラザでは、地域の様々な特技・知識等を持つ方々にボランティア講師となっただき、地域の子どもと大人が共に遊び、育み合うことができるよう環境づくりを行いました。

平成29年度は「多言語教室」「親子フィットネス」「多重奏コンサート」「だじゃれの時間」「ジャグリング」等を開催・実演していただき、ボランティアと子どもたちの交流の場を提供しました。

## オ 環境整備の推進

老朽化が進んでいるこども文化センターの中には建替え又は大規模修繕が必要なものがあります。今後、こうした施設の取扱いについて市との協議を進めるため、平成29年度は、52館全てのこども文化センターの調査を実施し、施設状況の把握に取り組みました。

### (ア) 大規模修繕

30万円以上の施設・設備の修繕については、所有者である川崎市が行うこととなりますが、安全・安心の確保や環境整備の観点から緊急度が高い場合については、市と協議のうえ、指定管理者が行っています。平成29年度は、当財団による大規模修繕に該当する補修・改修工事はありませんでした。

### (イ) 小規模修繕・軽工事

30万円未満の施設・設備・用具等の修繕については、指定管理者が行うこととなります。施設や用具等の安全管理については、日ごろから点検を欠かさず、破損や故障を発見した場合は、迅速に対応することが必要です。

平成29年度は、安全・安心確保の観点から、夏季に入る前のエアコン補修工事の実施、照明や電気設備の補修工事を重点的に実施しました。また、老朽化が進んでいるトイレ、冷

水機の補修工事も多く実施する等、合計344箇所（総額18,586,656円）で補修・改修の工事を実施しました。

簡易的な補修や書棚、遊具棚等の製作においては、昨年までと同様に、現場を熟知している元学校業務職の方々にご協力をいただき、迅速な対応を図りました。

また、集会室等、エアコンの必要性について、室温調査データを川崎市と共有するなど、将来的な環境整備にも取り組みました。

### (ウ) 蔵書の充実

読書は、子どもたちが豊かな人間性を育む上で欠かすことのできないものです。感受性豊かな時期に多くの本と接することは、その後の人生を生きていく大きな力になります。乳幼児のための絵本をはじめ、小学生から高校生まで幅広い年齢層に対応した蔵書の充実を図り、青少年の読書力の向上、読書習慣の形成を促進しています。平成29年度は、図書購入費を各こども文化センター及び小杉っこスペースに10万円、各わくわくプラザに5万円を配当し、合計10,350,000円を別途配当しました。

また、幸区役所の予算で幸区内の各こども文化センターに7千円分の本を提供していただき、読み聞かせなどに活用しました。

### カ 教育実習・インターンシップへの対応

公益財団法人の社会貢献の一つとして、例年どおり教育実習生やボランティアを各施設で受入れました。

#### (ア) 児童館教育実習生の受入状況

平成29年度は、新たに川崎市立看護短期大学より、看護論実習として4人の実習生を受入れ、合計18人の実習生を16館のこども文化センターで受け入れました。

#### 受入状況

依頼学校名	人数	実習場所	実習期間
帝京科学大学	1人	新丸子こども文化センター	12日
有明教育芸術短期大学	2人	南河原こども文化センター	12日
		旭町こども文化センター	
昭和女子大学	1人	宮前平こども文化センター	12日
鎌倉女子短期大学	1人	日進町こども文化センター	11日
鎌倉女子大学	2人	末長こども文化センター	11日
		高津こども文化センター	
松陰大学	1人	上作延こども文化センター	12日
草苑保育専門学校	4人	南菅こども文化センター	10日
		平間こども文化センター	
		菅こども文化センター	
		住吉こども文化センター	
町田福祉保育専門学校	2人	柿生こども文化センター	10日
		東高津こども文化センター	
川崎市立看護短期大学	2人	平間ふあみいゆ平間	2日
	2人	田島こども文化センター ふあみいゆ田島	1日

(イ) 職業体験・まち探検（社会科見学）等の受入状況

職業体験・まち探検（社会科見学）等では、小学生・中学校・高校生等が、こども文化センターやわくわくプラザの見学や業務の体験を行いました。

平成29年度は合計2,776人を受け入れ、その内訳は、次のとおりです。

① 小学校・中学校生の職業体験の受入状況

依 頼 学 校 名	人 数	実 習 場 所	実 習 期 間	
川崎区	川崎小学校	10人	日進町こども文化センター	1日
	臨港中学校	11人	田島こども文化センター	6日
	京町中学校	3人	浅田こども文化センター	1日
	小田小学校	4人	小田こども文化センター	1日
幸区	御幸中学校	10人	南河原こども文化センター	2日
	戸手小学校	4人	幸こども文化センター	2日
	御幸中学校	12人	幸こども文化センター	2日
	南加瀬中学校	2人	南加瀬こども文化センター	1日
	南加瀬中学校	3人	小倉こども文化センター	1日
	日吉中学校	4人	北加瀬こども文化センター	1日
中原区	中原中学校	4人	新丸子こども文化センター	1日
	橘中学校	6人	新丸子こども文化センター	2日
	井田中学校	2人	井田こども文化センター	1日
	玉川中学校	3人	玉川こども文化センター	1日
	日吉中学校	4人	西加瀬こども文化センター	1日
	西中原中学校	10人	新城こども文化センター	2日
	西中原中学校	10人	大戸こども文化センター	2日
	宮内中学校	4人	宮内こども文化センター	1日
高津区	東橋中学校	8人	高津こども文化センター	2日
	東高津中学校	4人	二子こども文化センター	1日
	宮内中学校	4人	東高津こども文化センター	1日
	東高津中学校	4人	東高津こども文化センター	1日
	東橋中学校	6人	子母口こども文化センター	2日
	宮崎中学校	15人	梶ヶ谷こども文化センター	2日
宮前区	有馬中学校	20人	有馬こども文化センター	3日
	野川中学校	18人	野川こども文化センター	2日

依 頼 学 校 名	人 数	実 習 場 所	実 習 期 間	
多摩区	宿河原小学校	54人	枳形こども文化センター	9日
	生田中学校	4人	枳形こども文化センター	2日
	宿河原小学校	61人	長尾こども文化センター	9日
	稲田中学校	4人	長尾こども文化センター	1日
	生田中学校	4人	三田こども文化センター	2日
	菅中学校	7人	菅こども文化センター	2日
麻生区	柿生中学校	6人	柿生こども文化センター	2日
	王禅寺中央中学校	2人	白山こども文化センター	1日

② 小学校・中学校生のまち探検（社会科見学）の受入状況

依 頼 学 校 名	人 数	実 習 場 所	実 習 期 間	
川崎区	旭町小学校	80人	旭町こども文化センター	2日
	田島小学校	22人	渡田こども文化センター	2日
	殿町小学校	30人	殿町こども文化センター	1日
	小田小学校	9人	浅田こども文化センター	1日
	浅田小学校	102人	浅田こども文化センター	2日
	小田小学校	25人	小田こども文化センター	1日
	新町小学校	49人	小田こども文化センター	1日
	東小田小学校	5人	小田こども文化センター	1日
幸区	富士見中学校	6人	南河原こども文化センター	1日
	古川小学校	153人	幸こども文化センター	1日
	下平間小学校	24人	下平間こども文化センター	2日
	夢見ヶ崎小学校	10人	南加瀬こども文化センター	1日
	小倉小学校	14人	小倉こども文化センター	1日
	日吉小学校	5人	北加瀬こども文化センター	1日
中原区	上丸子小学校	10人	新丸子こども文化センター	1日
	西丸子小学校	4人	新丸子こども文化センター	1日
	住吉小学校	81人	住吉こども文化センター	1日
	下小田中小学校	15人	井田こども文化センター	2日
	井田小学校	74人	井田こども文化センター	2日
	下河原小学校	10人	平間こども文化センター	1日
	住吉中学校	4人	西加瀬こども文化センター	1日
	荻宿小学校	9人	西加瀬こども文化センター	1日
	新城小学校	13人	新城こども文化センター	2日
	大戸小学校	10人	新城こども文化センター	1日
	大谷戸小学校	306人	大戸こども文化センター	5日
	龔学校小学校	9人	大戸こども文化センター	3日
宮内小学校	18人	宮内こども文化センター	2日	

依 頼 学 校 名	人 数	実 習 場 所	実習期間	
高津区	上作延小学校	45人	上作延こども文化センター	1日
	向ヶ丘中学校	7人	上作延こども文化センター	1日
	高津小学校	18人	高津こども文化センター	2日
	坂戸小学校	92人	二子こども文化センター	2日
	東高津小学校	24人	東高津こども文化センター	2日
	子母口小学校	9人	子母口こども文化センター	1日
	宮崎中学校	12人	梶ヶ谷こども文化センター	1日
宮前区	宮崎台小学校	5人	宮崎こども文化センター	1日
	宮崎中学校	5人	宮崎こども文化センター	1日
	西有馬小学校	9人	有馬こども文化センター	1日
	宮崎小学校	12人	有馬こども文化センター	2日
	宮崎中学校	6人	有馬こども文化センター	1日
	野川小学校	56人	野川こども文化センター	1日
	富士見台小学校	10人	宮前平こども文化センター	1日
	向丘小学校	23人	平こども文化センター	2日
	カリタス小学校	1人	平こども文化センター	1日
	白幡台小学校	52人	白幡台こども文化センター	4日
多摩区	東生田小学校	105人	桁形こども文化センター	3日
	宿河原小学校	34人	長尾こども文化センター	1日
	稲田小学校	189人	長尾こども文化センター	4日
	生田小学校	80人	錦ヶ丘こども文化センター	1日
	南生田小学校	31人	錦ヶ丘こども文化センター	2日
	三田小学校	113人	三田こども文化センター	2日
	菅小学校	37人	菅こども文化センター	1日
	中野島小学校	11人	中野島こども文化センター	1日
	南菅小学校	36人	南菅こども文化センター	2日
麻生区	百合丘小学校	19人	百合丘こども文化センター	1日
	西生田小学校	13人	百合丘こども文化センター	1日
	長沢小学校	29人	東百合丘こども文化センター	1日
	虹ヶ丘小学校	29人	虹ヶ丘こども文化センター	1日
	柿生小学校	110人	柿生こども文化センター	1日
	王禅寺中央小学校	22人	白山こども文化センター	1日
	真福寺小学校	47人	白山こども文化センター	1日
	麻生小学校	5人	麻生こども文化センター	1日

③ 私立中学生・高校生ボランティアの受入状況

依 頼 学 校 名	人 数	受 入 場 所	受入期間
県立高津養護学校	36人	有馬こども文化センター	3日
昭和女子大学附属昭和高等学校	4人	宮崎小学校わくわくプラザ	1日
桐 朋 高 等 学 校	2人	久本小学校わくわくプラザ	1日
		中野島こども文化センター	
カリタス女子中学高等学校	3人	柿生こども文化センター	2日

#### ④ チャレンジボランティア（夏期）の受入状況

主催者	人数	受入場所	受入期間
川崎市社会福祉協議会	6人	幸こども文化センター	2日
区社会福祉協議会	2人	戸手小学校わくわくプラザ	2日
川崎市公園緑地協会	1人	御幸小学校わくわくプラザ	2日
川崎授産学園	2人	西御幸小学校わくわくプラザ	2日

#### (ウ) その他

神奈川県立鶴見養護学校より5年経験者社会体験研修の依頼を受け、下平間こども文化センターにて3日間、教諭1人の受け入れを行いました。

秦野市立渋沢小学校より中堅教諭等資質向上研修社会体験研修の依頼を受け、麻生こども文化センターにて2日間、教諭1人の受け入れを行いました。

### キ 情報発信の取組強化

#### (ア) ホームページの活用

行事の開催・活動内容・団体への部屋の貸し出し状況等、施設に関する最新の情報を提供できるよう、定期的に掲載内容を更新しました。

#### (イ) かわさき子育てアプリの活用

行事の開催情報を定期的に更新し、子育て情報の周知向上を図りました。

#### (ウ) 地域メディアの活用

地域メディアを活用し、地域の方々にこども文化センターの場所や事業を広報することにより、利用者の増加を図りました。

#### ① 川崎市内ケーブルテレビの媒体利用

川崎市内で放送されている「YOUテレビ」「i T S COM」「J : COM」の各ケーブルテレビ会社で、こども文化センター事業の事前告知や当日の様子を放送することで、こども文化センターの周知や広報を行いました。

今年度は、平成29年12月9日（土）に開催された全館合同事業「ゴーゴーかわさキッズ～マンカラ大会・子どもサミット～」、平成30年1月27日（土）に開催された「ゴーゴーかわさキッズ～BUNBUNステージ～」の様子が放送されました。

#### ② NHK放送番組への出演

平成29年11月4日（土）NHK Eテレで「ウワサの保護者会～ゲーム時間を減らそう大作戦～」が放送されました。番組内で麻生こども文化センターを利用する児童が、ペットボトルキャップを積み上げて競う遊びを夢中で楽しんでいる姿が放映されました。

### ク 効果的な研修計画の策定・実施

青少年健全育成事業のサービス向上には、職員の資質向上が欠かせません。当財団では、勤務経験や職位に応じた各種研修を計画的に実施しています。また、神奈川県や川崎市等、他の団体が主催で行う研修にも職員を積極的に参加させ、職員のスキルアップや資格の取得を進めています。さらに、今年度は、財団主催の職員研修として、大学の教授を講師に迎え「児童の身体活動と健康について」「配慮が必要な子どもへの対応や支援について」を企画、実施しました。

新任館長・職員研修では、適切に業務に従事するための基礎知識等の研修を、年間を通じて5回実施するとともに、区、グループ、館ごとに、地域性を重視した研修を実施しました。なお、各館では、職員ごとの研修受講名簿を備え、全職員が必要となる研修を順次受講できるように工夫し、効率・効果的な研修になるよう心がけました。

(ア) 財団主催研修 (全市合同)

研 修 名	講 師	対 象	参加数	開 催 場 所
新任館長・新任職員研修 (全4日間開催)	本部職員 中原消防署 社会保険労務士	館 長 職 員	延べ 108人	財 団 本 部 中 原 消 防 署
主 任 研 修 (2回開催)	自主研修	主 任	延べ 38人	財 団 本 部
主任本部体験研修 (全3日間開催)	本部職員 (職員係・施設係・事業係、 予算係・エリア担当・人材 育成係)	主 任	1人	財 団 本 部
職 員 研 修 「児童の身体活動と健康」	日本体育大学体育学部教授 野井 真吾氏	館 長 職 員	延べ 589人	川崎市総合福祉セ ンター(エポック なかはら)ホール
職 員 研 修 「配慮が必要な子どもへの 適切な支援について」	東海大学体育学部教授 内田 匡輔氏	館 長 職 員	延べ 237人	高 津 市 民 館 大 会 議 室
館 長 研 修 「予算の仕組み」 (全4回開催)	青少年事業課予算 係長 工 徹氏	館 長	延べ 52人	財 団 本 部

(イ) 財団主催研修 (区単位)

区	研 修 名	講 師	対 象	参加数	開 催 場 所
川 崎 区	川 崎 区 研 修 「中高生対応研修」	川崎市立臨港中学校 教頭 新山 英樹氏	館 長 職 員	延べ 39人	日進町こども文化 セ ン タ ー
	川 崎 区 研 修 「防犯・不審者対応研修」	神奈川県警川崎警察署生活安 全課スクールサポーター 杉山 秀樹氏	館 長 職 員	延べ 40人	渡田こども文化 セ ン タ ー
	川 崎 区 研 修 「主任講師体験研修」	青少年事業課職員係 主任 石井 孝文氏	館 長 職 員	延べ 19人	旭町こども文化 セ ン タ ー
	川 崎 区 研 修 「接遇研修(保護者対応)」	川崎市総合教育センター 適応指導教室ゆうゆう広場 小島 由枝氏	館 長 職 員	延べ 60人	日進町こども文化 セ ン タ ー
幸 区	幸 区 研 修 「大規模災害研修」	川崎市危機管理室 田邊 寛隆氏	館 長 職 員	延べ 62人	南加瀬こども文化 セ ン タ ー
	幸 区 研 修 「主任研修」	青少年事業課予算係 主任 野々村 直登氏	館 長 職 員	延べ 20人	南加瀬こども文化 セ ン タ ー

区	研 修 名	講 師	対 象	参加数	開 催 場 所
幸 区	幸 区 研 修 「 A E D 研 修 」	川崎市消防防災指導公社	館 長 職 員 チ ー フ サ ポ ー タ ー パ ー ト ナ ー	延ベ 30人	南加瀬こども文化 セ ン タ ー
中 原 区	中 原 区 研 修 「中学生・高校生の居 場 所 つ っ く り 」	西加瀬こども文化センター 館長 大平 年光氏 新城こども文化センター 館長 阿部 敏氏	館 長 職 員 チ ー フ サ ポ ー タ ー パ ー ト ナ ー	延ベ 33人	新城こども文化 セ ン タ ー
	中 原 区 研 修 「子どもの応急手当」	日本赤十字社 安全法主任指導員 村松 光明氏	館 長 職 員 チ ー フ サ ポ ー タ ー パ ー ト ナ ー	延ベ 42人	宮内こども文化 セ ン タ ー
	中 原 区 研 修 「講師体験研修・災害 に つ い て 」	住吉こども文化センター 主査 仁平 京子氏	館 長 職 員 チ ー フ サ ポ ー タ ー パ ー ト ナ ー	延ベ 25人	住吉こども文化 セ ン タ ー
高 津 区	高 津 区 研 修 「チーフ情報交換研修」	高津区内こども文化センター 各館 館長 久地小学校わくわくプラザ チーフサポーター 平 律子氏	チ ー フ	延ベ 46人	高津こども文化 セ ン タ ー
	高 津 区 研 修 「主任講師体験研修」	エリア事務担当(川崎市・幸区) 主任 藤岡 啓太郎氏	館 長 職 員 主 任	延ベ 26人	高津こども文化 セ ン タ ー
宮 前 区	宮 前 区 研 修 「ドッジビー審判研修」 (全2回開催)	有馬こども文化センター 職員 長谷川 寛隆氏 野川こども文化センター 職員 緒方 治氏	館 長 職 員 チ ー フ サ ポ ー タ ー	延ベ 70人	有馬こども文化 セ ン タ ー 白幡台こども文化 セ ン タ ー
	宮 前 区 研 修 「レクリエーション研修」	有馬こども文化センター 職員 長谷川 寛隆氏 南菅こども文化センター 職員 木村 友也氏	館 長 職 員 チ ー フ サ ポ ー タ ー	延ベ 45人	宮前平こども文化 セ ン タ ー
	宮 前 区 研 修 「衛生管理・感染予防研」	川崎市宮前区役所宮前区保健福 祉センター 衛生課職員衛生係 田中友氏 感染症係 小幡 えり奈氏 環境衛生係 根本 里美氏	館 長 職 員 チ ー フ サ ポ ー タ ー	延ベ 49人	宮前平こども文化 セ ン タ ー
多 摩 区	多 摩 区 研 修 「コミュニケーション・ ト レ ー ニ ン グ 研 修 」	NPO法人 セルフ・カウンセ リング普及協会コミュニケー ション・トレーナー 松村 喜代氏 山下 優子氏 生江 規子氏 神邊 葉子氏	館 長 職 員 チ ー フ サ ポ ー タ ー	延ベ 66人	生 田 出 張 所
	多 摩 区 研 修 「主任講師体験研修」	三田こども文化センター 主任 中川路 ふみ子氏	館 長 職 員 チ ー フ サ ポ ー タ ー パ ー ト ナ ー	延ベ 15人	三 田 こ ど も 文 化 セ ン タ ー

区	研 修 名	講 師	対 象	参加数	開 催 場 所
多摩区	多摩区研修 「普通救命救急研修」	川崎市消防防災指導公社	館長 職員 チーフ サポーター パートナー	延べ 30人	桁形こども文化 センター
麻生区	麻生区研修 「多世代・異年齢交流の促進について」	麻生区保育総合支援担当 野村 佳子氏、矢野 美代子氏	館長 職員 チーフ サポーター パートナー	延べ 43人	虹ヶ丘こども文化 センター
	麻生区研修 「中高生の居場所づくり・中高生対応」	王禅寺中央中学校教諭 佐藤 耕司氏	館長 職員 チーフ サポーター パートナー	延べ 37人	虹ヶ丘こども文化 センター

### (ウ) 川崎市主催研修

研 修 名	講 師	対 象	参加数	開 催 場 所
第 1 回「接遇・対応」	エグゼクティブコンサルタント 花田 恵美氏	館長 職員 臨時職員	延べ 94人	生涯学習プラザ
第 2 回「児童虐待」	川崎市こども家庭センター 保科 健氏 宮前区地域みまもり支援センター 鈴木 千絵氏	館長 職員 臨時職員	延べ 88人	生涯学習プラザ
第 3 回「アレルギー対応」 (エピペン実習を含む)	川崎市学校教育部 田中 理恵氏	館長 職員 臨時職員	延べ 131人	生涯学習プラザ
第 4 回「安全管理・事故防止」	川崎市宮前区担当課長 森島 烈氏	館長 職員 臨時職員	延べ 106人	生涯学習プラザ
第 5 回「学校や地域の連携」	豊島子どもWAKUWAKU ネットワーク 栗林 知絵子氏	館長 職員 臨時職員	延べ 102人	生涯学習プラザ
第 6 回「障害児対応」	川崎市総合教育センター 特別支援教育センター 指導主事 松原 晴美氏	館長 職員 臨時職員	延べ 125人	生涯学習プラザ
第 7 回「衛生管理研修」	川崎市食品衛生協会	館長 職員 臨時職員	延べ 105人	生涯学習プラザ
第 8 回「保護者・家庭との連携」	K. コムトレード 河合 健三氏	館長 職員 臨時職員	延べ 120人	生涯学習プラザ
第 9 回「中高生への対応」	川崎市総合教育センター 教育相談センター 指導主事 松田 典英氏	館長 職員 臨時職員	延べ 100人	生涯学習プラザ
第 10 回「応急手当研修」 (全 2 回 開 催 )	川崎市消防防災指導公社	館長 職員 臨時職員	延べ 95人	生涯学習プラザ

研 修 名	講 師	対 象	参加数	開 催 場 所
第11回「子どもの権利」 (全2回開催)	川崎市青少年支援室こどもの権利 係長 宮島 登氏 担当 谷口 奈緒子氏	館 長 職 員 臨時職員	延べ 284人	生涯学習プラザ
第12回「外国につながる子ども の 支 援 」	川崎市総合教育カリキュラムセン ター 指導主事 福岡 弘行氏	館 長 職 員 臨時職員	延べ 137人	生涯学習プラザ
第13回「障害児対応」	川崎市教育委員会 学校教育部指 導課 指導主事 高山 深紀世氏	館 長 職 員 臨時職員	延べ 141人	生涯学習プラザ
第14回「不登校児対応」	NPO法人フリースペースたまり ば 理事長 西野 博之氏	館 長 職 員 臨時職員	延べ 135人	生涯学習プラザ
遊びや活動の支援「紙すき」 (全3回開催)	森林・木育インストラクター 遠藤 正氏 特定非営利活動法人 国際自然大 学校職員	館 長 職 員 臨時職員	延べ 68人	川崎市野川青少年 野外活動センター
野外研修「ドラム缶ピザ」 (全3回開催)	特定非営利活動法人 国際自然大 学校職員	館 長 職 員 臨時職員	延べ 155人	川崎市野川青少年 野外活動センター

## (エ) 資格取得研修

研 修 名	講 師	対 象	取得者数	開 催 場 所
雇用環境整備士資格講習会	社団法人 日本雇用環境整備機構	本 部 職 員	2人	中野サンプラザ
レクリエーションインストラク ター 資格取得公認講座	非特定非営利活動法人 神奈川県レクリエーション 協会	職 員	2人	神 奈 川 県 立 ス ポー ツ 会 館
甲種防火管理者講習会	川崎市消防防災指導公社	館 長	9人	川崎日航ホテル
児童厚生員等基礎研修会 (児童厚生2級)	一般財団法人 児童健全育成推進財団	職 員	9人	国立オリンピック 記 念 青 少 年 総 合 セ ン ター
キャンプインストラクター資格 認 定 講 習 会	神奈川県キャンプ協会	職 員	1人	神奈川県足柄ふ れ あ い の 村
神奈川県放課後児童支援員認定 資格(6月、7月、9月、10月、 11月、1月、2月、3月開催)	(株)東京リーガルマインド	館 長 職 員 臨時職員	延べ 279人	神奈川県公文書 館 横浜市健康福祉 総 合 セ ン ター
児童厚生一級特別セミナー 実 践 報 告	一般財団法人 児童健全育成推進財団	館 長	2人	上 智 大 学
調査管理登録更新研修	かながわ福祉サービス 第三者評価推進機構	館 長	3人	神 奈 川 県 社 会 福 祉 会 館

## ケ 子どもの変化の気づきについて

いじめや虐待、不登校等、子どもを取り巻く社会問題は多様化・複雑化が進んでおり、痛ましい事件も後を絶ちません。川崎市からも、虐待の疑いなどの気づきがあった場合は組織的な対応をし、複数の機関で見守る体制を整えることが求められています。

当財団では、虐待が疑われる児童の報告フローや、早期発見のチェックリストを活用し、被虐待児の把握に努め、川崎市へ報告する体制を整えるとともに、各区要保護児童対策地域協議会に代表館長が出席し、情報共有に努めました。

また、昨年度に引き続き、できるだけ多くの小・中・高生に「いのちの大切さ」を体験学習してもらうために「乳幼児とのふれあい事業」や「命の大切さを伝える読み聞かせ事業」を拡充しました。

## コ 事故報告

### (ア) こども文化センターでの事故について

こども文化センターで起きた28件の事故のうち、17件は集会室での事故となっています。集会室での事故を防止するためにも、集会室を利用する児童には、準備運動を促すとともに、職員の定期的な見守りと声かけを強化し、事故減少に努めました。

事故が発生した際には、初期対応を迅速に行い、応急手当や保護者への連絡等、マニュアルを基本に適切に対応しました。また、幼児の利用についても、保護者の方に目を離さないよう声掛けや掲示を行いました。

#### 過去5年間のこども文化センターにおける事故の件数

月	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
4月	1 (1)人	3 (1)人	2 (0)人	1 (0)人	2 (0)人
5月	1 (0)人	1 (0)人	2 (1)人	1 (0)人	2 (1)人
6月	0 (0)人	2 (1)人	1 (0)人	4 (1)人	1 (0)人
7月	2 (0)人	1 (0)人	1 (0)人	2 (1)人	3 (1)人
8月	3 (1)人	2 (1)人	6 (3)人	1 (1)人	1 (1)人
9月	6 (2)人	0 (0)人	2 (1)人	2 (1)人	2 (1)人
10月	2 (0)人	1 (0)人	3人 (2)人	2 (0)人	3 (1)人
11月	5 (2)人	2 (0)人	1人 (0)人	4 (0)人	1 (1)人
12月	2 (0)人	3 (0)人	0人 (0)人	2 (1)人	3 (1)人
1月	0 (0)人	0 (0)人	0人 (0)人	3 (3)人	0 (0)人
2月	2 (1)人	3 (1)人	4人 (1)人	3 (2)人	5 (5)人
3月	2 (1)人	0 (0)人	2人 (1)人	1 (1)人	5 (1)人
計	26 (8)人	18 (4)人	24 (9)人	26 (11)人	28 (13)人

\* ( ) は4日以上通院の事故内数(平成30年3月31日現在)

### (イ) わくわくプラザでの事故について

わくわくプラザにおける事故件数は154件となっています。発生率の高い怪我としては、擦傷・打撲78件、骨折(ヒビ含む)38件が挙げられます。

事故を未然に防ぐために、日頃からの安全点検を行い、利用者しやすい環境整備に努める等、常に安全に配慮して事故防止を心がけました。また、校庭等での外遊びでは、トランシーバーを活用し、スタッフ間の連携を図るとともに、児童にはビブスを着用させる等、見守り体制を強化して事故防止に努めました。

さらに、事故ゼロを目指し、館長会議での事例検討会等による類似事故の防止対策の検討や、適切な見守り配置の再確認、子どもたちへの声掛けの強化、準備運動の徹底等、様々な取組みを継続することにより再発防止に繋がりました。

また、事故が発生した際は「事故対応マニュアル」に沿って、応急手当、保護者への連絡

等、適切な初期対応を実施するとともに、複数のスタッフで事故の状況を確認することを徹底しました。特に首から上の怪我への対応の重要性について、臨時職員を含む全職員が認識し、救急車搬送を基本とした対応について周知徹底しました。

#### 過去5年間のわくわくプラザにおける事故の件数

月	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
4月	21 (3)人	17 (8)人	9 (0)人	12 (4)人	14 (4)人
5月	15 (4)人	15 (3)人	13 (2)人	16 (5)人	20 (3)人
6月	14 (9)人	13 (1)人	11 (7)人	11 (5)人	14 (5)人
7月	19 (7)人	16 (3)人	9 (1)人	13 (6)人	17 (7)人
8月	13 (4)人	7 (0)人	13 (5)人	4 (0)人	15 (6)人
9月	10 (1)人	10 (5)人	10 (3)人	13 (4)人	5 (1)人
10月	11 (6)人	14 (5)人	10 (2)人	17 (4)人	7 (3)人
11月	12 (0)人	8 (1)人	10 (4)人	14 (2)人	17 (5)人
12月	8 (1)人	13 (3)人	10 (2)人	19 (2)人	17 (4)人
1月	8 (0)人	7 (2)人	12 (4)人	6 (1)人	7 (3)人
2月	3 (1)人	8 (2)人	11 (5)人	8 (0)人	10 (1)人
3月	14 (8)人	18 (5)人	10 (3)人	11 (2)人	11 (0)人
計	148 (44)人	146 (38)人	128 (38)人	144 (35)人	154 (42)人

\* ( ) は4日以上通院の事故内数(平成30年3月31日現在)

#### (ウ) その他の場所での事故について

平成29年度のわくわくプラザの登下校時の事故は30件でした。

わくわくプラザ登下校中の事故が増加傾向にあるため、保護者へ対し、児童の一人帰りの時間について検討していただくよう、迎え時やたよりを通して周知するとともに、児童が一人帰りする際は、気を付けるよう注意喚起しました。

#### サ その他

##### (ア) 次期指定管理応募準備について

第3期指定管理者の指定期間が平成31年3月に満了になることから、第4期(平成31年4月から)の指定管理者の募集に備え、プロジェクトチームを立ち上げ、今期の事業の評価と課題の抽出、こども文化センター及びわくわくプラザ利用児童保護者や関係者へのアンケートの実施、次期指定管理へ向けた事業内容の素案作成などに取り組みました。

### 3 法人の運営

2010（平成22）年に公益財団法人としての認定を受け、その後、効果的な公益目的事業の実施と、法人としての役割・機能が発揮できる組織づくりを本部と現場が一体となって取り組みを進めてきました。また、当財団が実施している事業や財務に関して広く市民へ説明する責務を自覚して法人の運営を行いました。

#### ア 業務・組織の改革

法人全体の業務改善に取り組むとともに、事業計画の進捗管理を着実にを行い、コスト削減や効果的な事業の実施等を通じて、経営基盤の強化を図り、組織の総合力向上に努めました。

また、組織としての一体感の醸成や職員のスキルアップを図るため、各種研修等を実施するとともに、更なる職員の意識改革の促進と人材育成にも取り組みました。

#### イ 財務改善

経理・会計処理では、公益法人会計基準に準拠した会計を的確に行うため、平成25年9月1日からP C A公益法人会計ソフトを導入して実施しています。平成26年度からは諸謝金の会計処理業務を委託から経理担当での直接実施に切り替えることにより、経費削減を図りました。また、各課との連携を図り、円滑な事務処理を行いました。

適正な会計処理の継続的な実施に向け、経理事務の改善を推進するとともに、安定した公益財団法人の経営を維持するために適切な財務管理を実施します。

#### ウ その他

公益認定後、2回目の行政庁の立入検査が、平成29年7月21日に実施されました。この検査は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律に基づき、3年ごと

に実施されるもので、会計、法人運営、事業に関する事項について検査が行われました。

検査当日、会計に関する事項については、財産目録の記載内容、費用の配賦及び理事が

講師等を務めた場合の謝金規程の整備、また法人運営に関する事項については、代表理事

及び業務執行理事の職務状況報告、定期提出書類である「資金調達及び設備投資の見込み

を記載した書類」の扱い及び議事録の法定記載事項について、口頭での伝達事項があり、

それぞれの的確に所要の対応を図りました。